

民間ネット調査「情報発信に関する調査(令和7年2月実施)」の結果について

【調査目的】

大阪市では、市政情報を確実にお届けするため、広報紙やホームページ(以下「HP」という)など、さまざまな媒体を活用して情報を発信しています。

また、新聞やテレビなどのマスメディアを通じて市政情報が報道されるよう、市長記者会見の実施など、報道機関に対しても積極的に情報提供を行っています。

本調査は、これらの情報発信に関する取組について、市民の皆さまのご意見をお聞きし、今後の参考とすることを目的としています。

【調査期間】

令和7年2月19日(水)～令和7年2月22日(土)

【調査方法】

インターネットを利用したウェブアンケート調査

【調査対象者】

- ・民間調査会社に登録するインターネットモニターのうち、市内に居住する方
- ・年代別(18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上)各100名、計600名

【調査票】

調査票(データ添付)

【回答者数と内訳】

- ・回答者数 600名(男性300名、女性300名)
- ・回答率 100%
- ・回答者の内訳

性別	18～29歳 (100名)		30～39歳 (100名)		40～49歳 (100名)		50～59歳 (100名)		60～69歳 (100名)		70歳以上 (100名)		回答者全体 (600名)	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率								
男性	50	50%	50	50%	50	50%	50	50%	50	50%	50	50%	300	50%
女性	50	50%	50	50%	50	50%	50	50%	50	50%	50	50%	300	50%
合計	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	600	100%

【留意点】

質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。

数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。

したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

また、複数回答の質問については、回答者数を母数に比率表示しています。

本アンケートの回答者は民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「市民全体の縮図」ではありません。

そのため、調査結果は、「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまります。

【結果の概要】

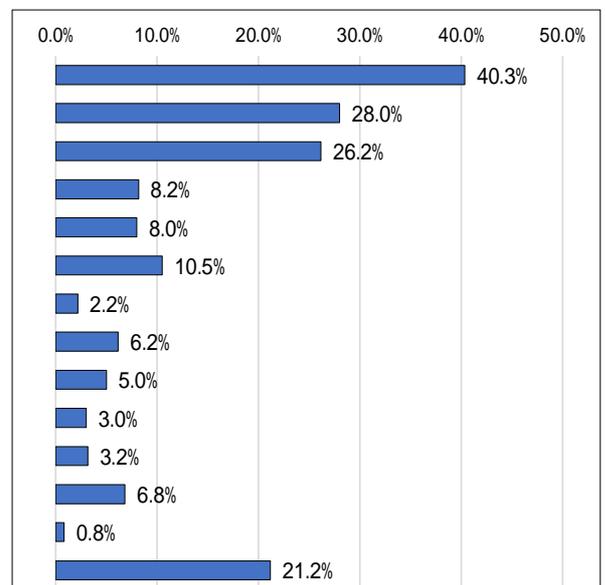
情報発信全般について

問1 市政情報を得るため、普段よく利用する媒体・メディアは何ですか。(3つまで回答可)

- ▶ 全体の傾向
 - ・「区の広報紙」と回答された方が 40.3%と最も高く、次いで「大阪市のHP」と回答された方が 28.0%となっている。
 - 一方、「市政情報を必要としていない」と回答された方は 21.2%となっている。
- ▶ 年代別の傾向
 - ・「区の広報紙」と回答された方の割合は、年代が高くなるほど高い傾向にある。
 - 一方、「市政情報を必要としていない」と回答された方の割合は、年代が低くなるほど高い傾向にある。

全体

	回答者数(600名)	
区の広報紙	242	40.3%
大阪市のHP	168	28.0%
新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどのマスメディア	157	26.2%
X(エックス 旧Twitter(ツイッター))	49	8.2%
LINE(ライン)	48	8.0%
YouTube(ユーチューブ)	63	10.5%
デジタルサイネージ(区役所・商業施設・郵便局などに設置)	13	2.2%
生活ガイドブック「大阪市くらしの便利帳」	37	6.2%
ポスター(Osaka Metro 駅構内掲示)	30	5.0%
ポスター(役所や地域の掲示板などに掲示)	18	3.0%
大判ポスター(Osaka Metro 駅構内掲示)	19	3.2%
チラシやパンフレット	41	6.8%
その他	5	0.8%
市政情報を必要としていない	127	21.2%



年代別

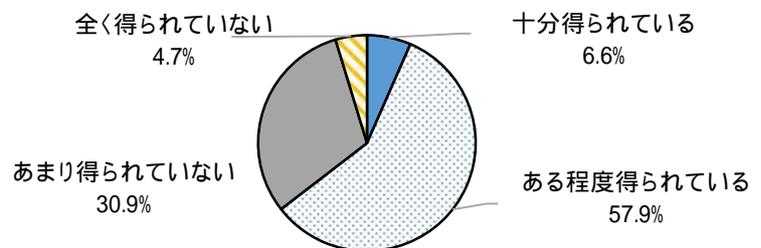
	18～29歳(100名)		30～39歳(100名)		40～49歳(100名)		50～59歳(100名)		60～69歳(100名)		70歳以上(100名)		回答者数(600名)	
区の広報紙	17	17.0%	23	23.0%	38	38.0%	39	39.0%	58	58.0%	67	67.0%	242	40.3%
大阪市のHP	23	23.0%	31	31.0%	33	33.0%	32	32.0%	22	22.0%	27	27.0%	168	28.0%
新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどのマスメディア	14	14.0%	23	23.0%	30	30.0%	28	28.0%	27	27.0%	35	35.0%	157	26.2%
X(エックス 旧Twitter(ツイッター))	17	17.0%	14	14.0%	7	7.0%	6	6.0%	3	3.0%	2	2.0%	49	8.2%
LINE(ライン)	15	15.0%	6	6.0%	3	3.0%	10	10.0%	11	11.0%	3	3.0%	48	8.0%
YouTube(ユーチューブ)	14	14.0%	21	21.0%	6	6.0%	7	7.0%	7	7.0%	8	8.0%	63	10.5%
デジタルサイネージ(区役所・商業施設・郵便局などに設置)	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	13	2.2%
生活ガイドブック「大阪市くらしの便利帳」	1	1.0%	1	1.0%	5	5.0%	3	3.0%	9	9.0%	18	18.0%	37	6.2%
ポスター(Osaka Metro 駅構内掲示)	5	5.0%	4	4.0%	7	7.0%	9	9.0%	1	1.0%	4	4.0%	30	5.0%
ポスター(役所や地域の掲示板などに掲示)	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	4	4.0%	7	7.0%	18	3.0%
大判ポスター(Osaka Metro 駅構内掲示)	3	3.0%	4	4.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%	3	3.0%	19	3.2%
チラシやパンフレット	2	2.0%	5	5.0%	5	5.0%	6	6.0%	10	10.0%	13	13.0%	41	6.8%
その他	1	1.0%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%	5	0.8%
市政情報を必要としていない	35	35.0%	28	28.0%	18	18.0%	21	21.0%	18	18.0%	7	7.0%	127	21.2%

問2 問1で「市政情報を必要としていない」以外をお選びになった方にお尋ねします。
これらの媒体・メディアを通じて、必要な市政情報が得られていると思われませんか。

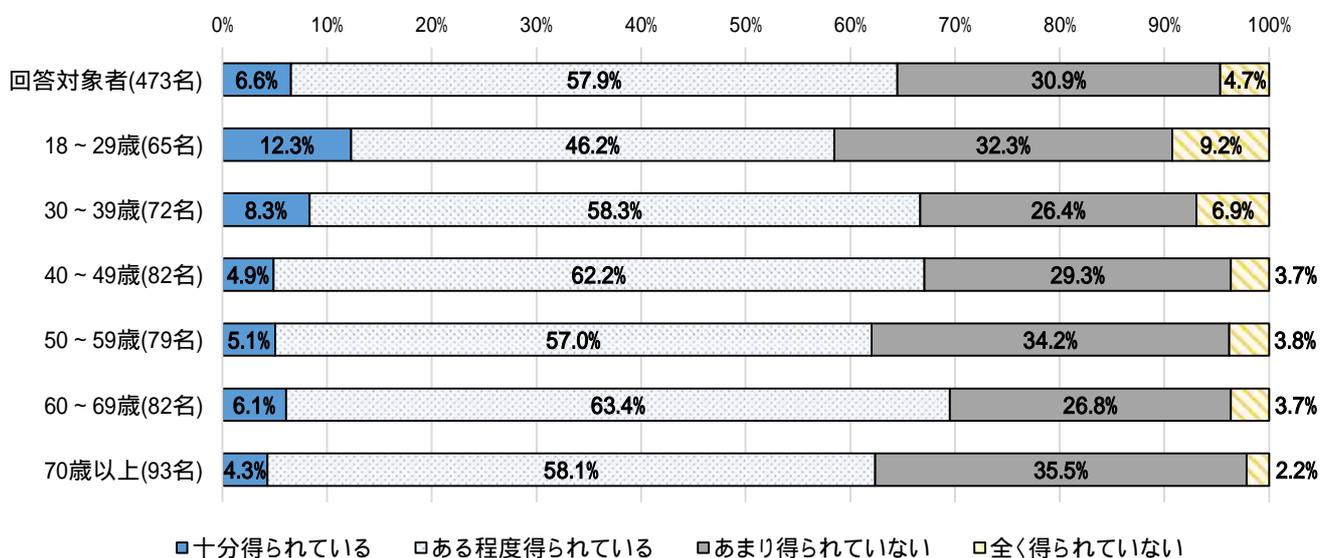
- ▶ 全体の傾向 ・「得られている」と回答された方は、「十分」「ある程度」と合わせて 64.5%であり、「得られていない」と回答された方は、「あまり」「全く」と合わせて 35.6%となっている。
- ▶ 属性別の傾向 ・年代別では、「得られている」と思う方の割合は 60 歳代で 69.5%と最も高く、次いで 40 歳代で 67.1%となっており、18～29 歳以外は6割を超えている。
・媒体別では、デジタルサイネージ、区の広報紙、生活ガイドブック「くらしの便利帳」が 75%を超えており、その他も X、YouTube、大判ポスター以外で「得られている」と思う方の割合が6割を超えている。

全体

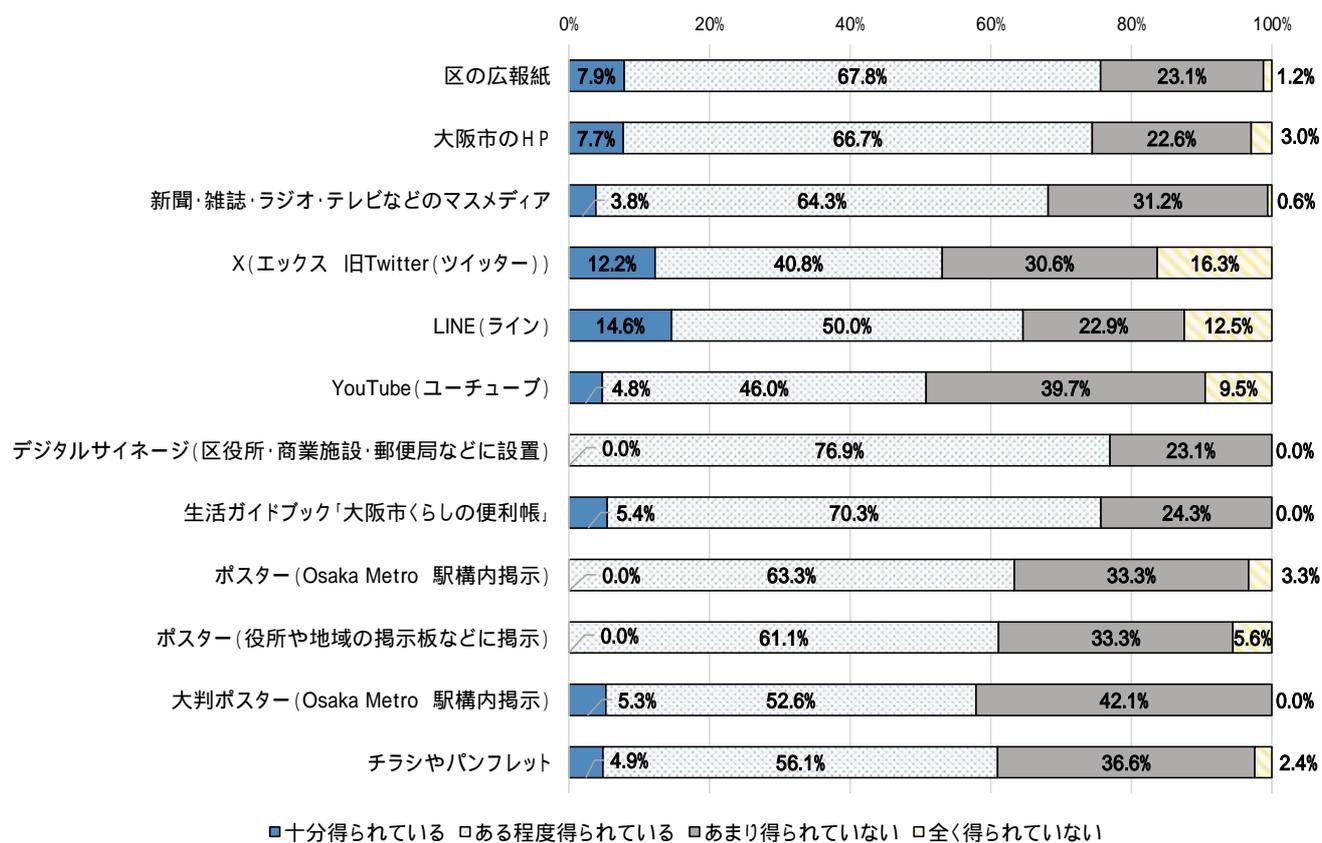
	回答者数(473名)	
十分得られている	31	6.6%
ある程度得られている	274	57.9%
あまり得られていない	146	30.9%
全く得られていない	22	4.7%
合計	473	100.0%



年代別



媒体別



問3 特に重点的に知っていただきたい取組を、さまざまな媒体を活用してお知らせしています。

下記の参考にあるような取組に関する情報に接したことがありますか。

【参考】特に重点的にお知らせした取組

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の推進

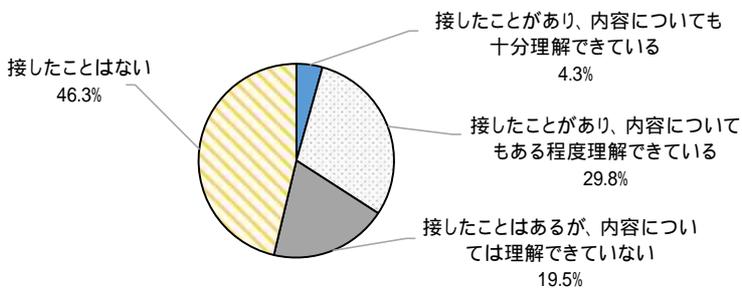
市民サービスの充実(0～2歳の保育料無償化、習い事・塾代助成、児童虐待防止対策、特別養護老人ホームの整備、認知症高齢者支援など)

大阪の成長の実現(なんば駅周辺の空間再編、うめきた2期区域のまちづくり、なにわ筋線や淀川左岸線延伸部の整備、災害救助物資の備蓄、堤防等の耐震対策など)

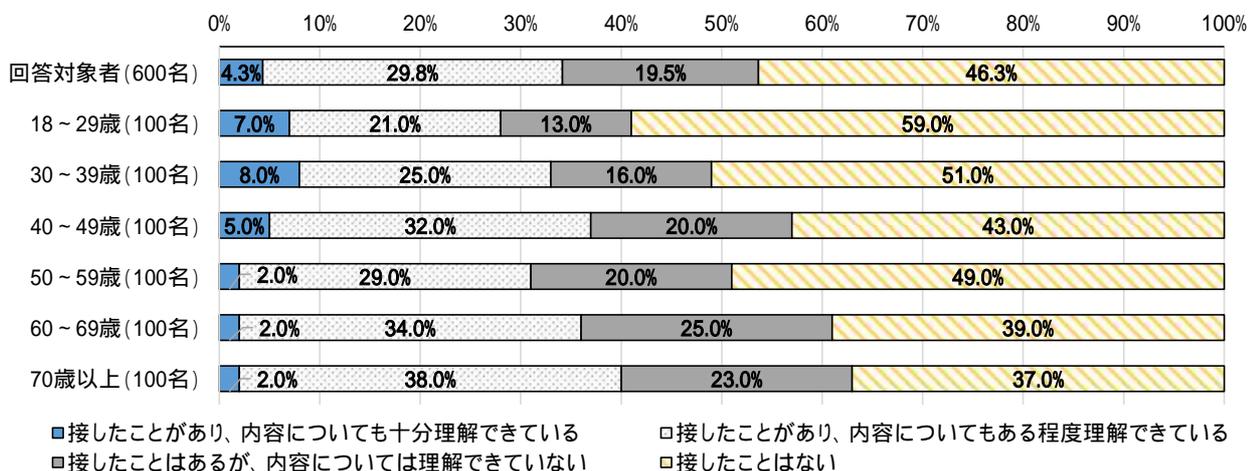
- ▶ 全体の傾向 ・「接したことがある」と回答された方は、「内容についても十分理解できている」「内容についてもある程度理解できている」「内容については理解できていない」と合わせて 53.7%と5割を超えており、「接したことはない」と回答された方は 46.3%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「接したことがある」と回答された方の割合は、「内容についても十分理解できている」「内容についてもある程度理解できている」「内容については理解できていない」と合わせて 60歳以上で6割を超えている。

全体

	回答者数(600名)	
接したことがあり、内容についても十分理解できている	26	4.3%
接したことがあり、内容についてもある程度理解できている	179	29.8%
接したことはあるが、内容については理解できていない	117	19.5%
接したことはない	278	46.3%
合計	600	100.0%



年代別



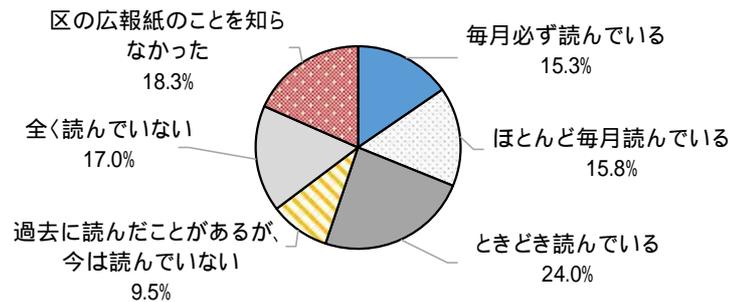
広報紙について

問4 区の広報紙を直近の1年間で、どの程度読まれていますか。

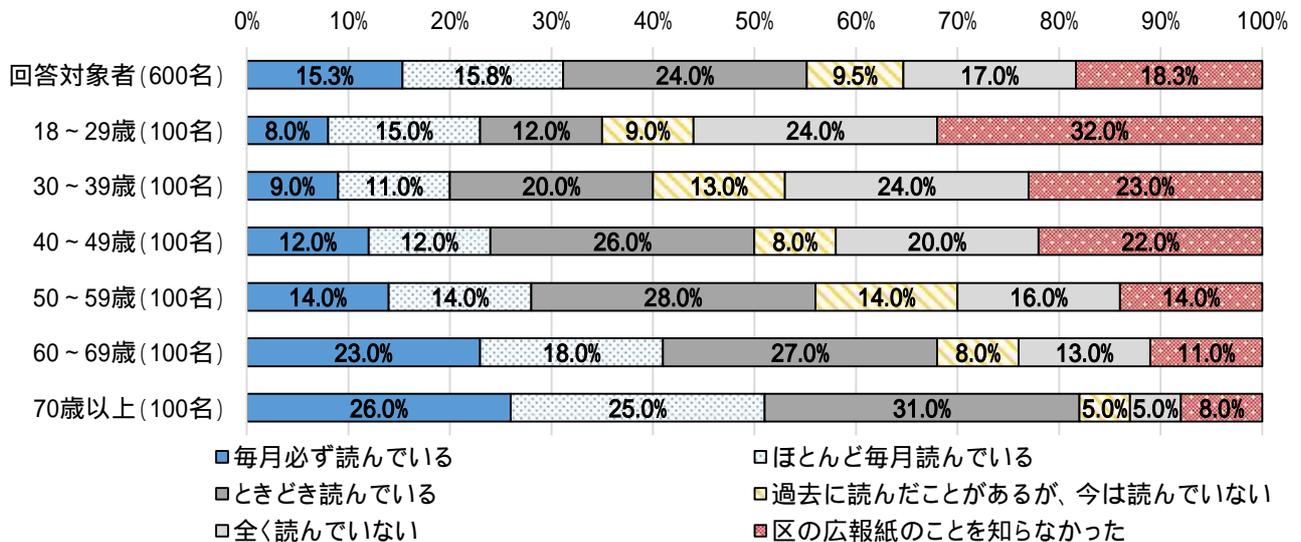
- ▶ 全体の傾向 ・「読んでいる」と回答された方は、「毎月必ず」「ほとんど毎月」「ときどき」と合わせて 55.1%であり、5割を超える方が定期的に読んでいると回答している。
- ▶ 年代別の傾向 ・「読んでいる」と回答された方の割合は、「毎月必ず」「ほとんど毎月」「ときどき」と合わせて 70 歳以上では8割を超えているが、29 歳以下では4割を下回っており、年代による違いが見られる。

全体

	回答者数(600名)	
毎月必ず読んでいる	92	15.3%
ほとんど毎月読んでいる	95	15.8%
ときどき読んでいる	144	24.0%
過去に読んだことがあるが、今は読んでいない	57	9.5%
全く読んでいない	102	17.0%
区の広報紙のことを知らなかった	110	18.3%
合計	600	100.0%



年代別



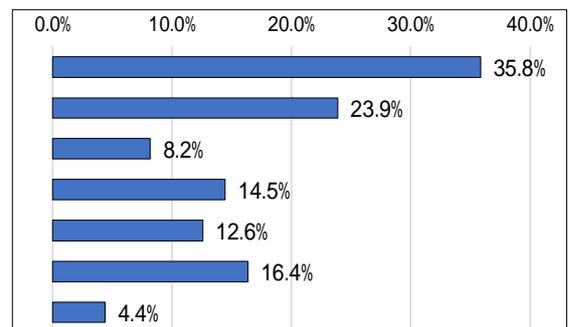
問5 問4で「過去に読んだことがあるが、今は読んでいない」「全く読んでいない」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。

区の広報紙を読まない、あるいは読んだことはあるが継続して読んでいないのは、主にどのような理由によるものですか。(3つまで回答可)

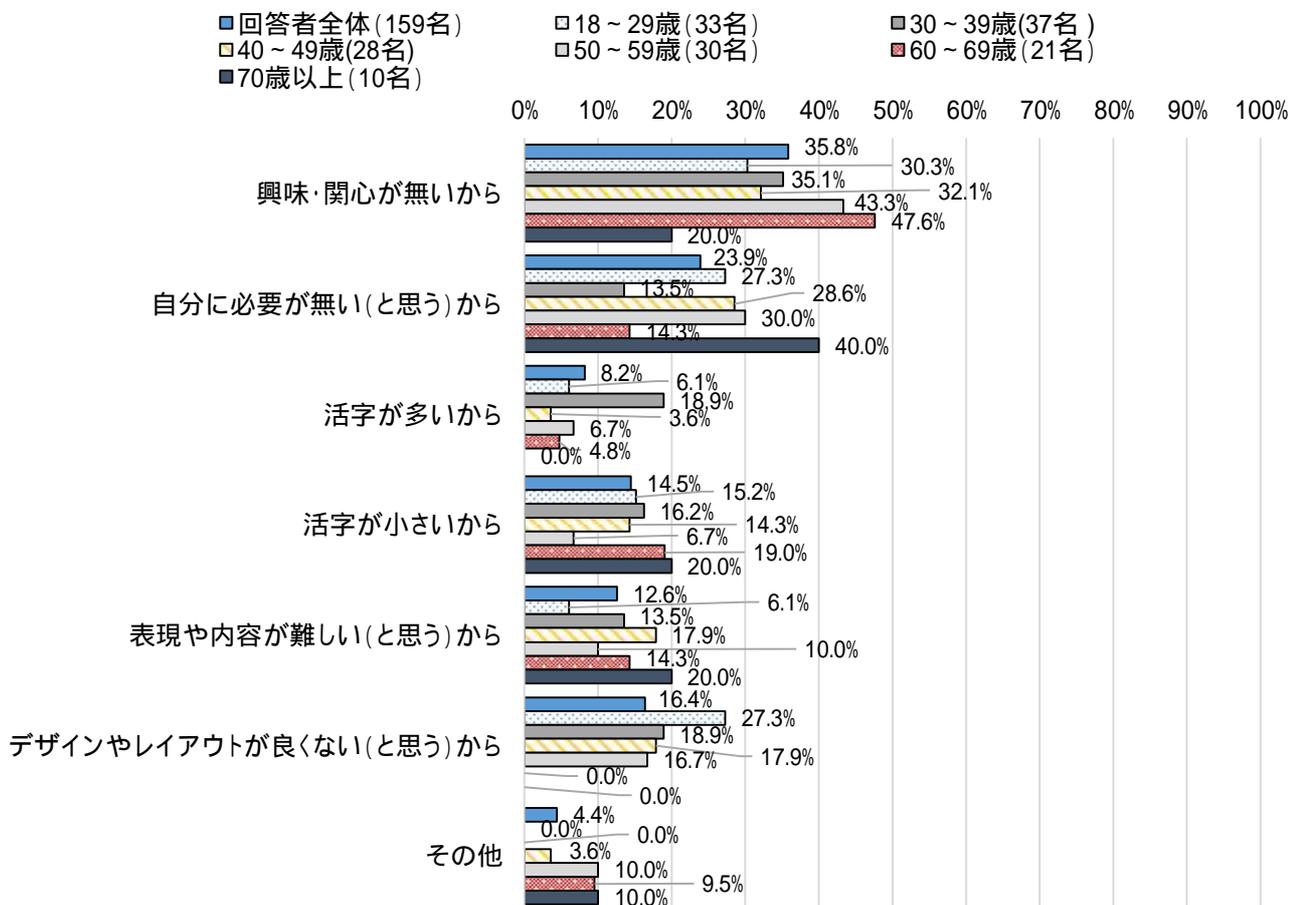
- ▶ 全体の傾向 ・「興味・関心が無いから」と回答された方が 35.8%と最も高く、次いで「自分に必要が無い(と思う)から」と回答された方が 23.9%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「興味・関心が無いから」と回答された方は、60歳代で 47.6%と最も高く、次いで 50歳代で 43.3%となっている。

全体

	回答者数(159名)	
興味・関心が無いから	57	35.8%
自分に必要が無い(と思う)から	38	23.9%
活字が多いから	13	8.2%
活字が小さいから	23	14.5%
表現や内容が難しい(と思う)から	20	12.6%
デザインやレイアウトが良くない(と思う)から	26	16.4%
その他	7	4.4%



年代別



問6 問4で「毎月必ず読んでいます」「ほとんど毎月読んでいます」「ときどき読んでいます」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。

区の広報紙に掲載している市全体に関する情報の面(24区共通情報で、「大阪市民のみなさんへ」というタイトルを付けています)においては、どなたにもお読みいただけるよう平易な表現を使用し、重要なお知らせは特に記事スペースを大きく使って詳しく説明し、市民の皆さんに分かりやすい市政情報の発信をめざしています。

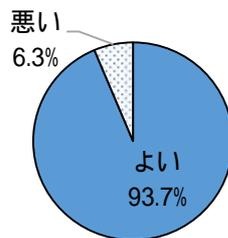
この「大阪市民のみなさんへ」での情報発信について、あなたはどのように思われますか。

- ▶ 全体の傾向 ・【文章・表現の分かりやすさ】について「よい」と回答された方が 93.7%、【ページの見やすさ】について「よい」と回答された方が 91.5%、【色づかい】について「よい」と回答された方が 90.0%、【写真・イラストの使い方】について「よい」と回答された方が 88.5%、【文字の大きさ】について「そのままよい」と回答された方が 85.5%、【情報の量】について「そのままよい」と回答された方が 84.3%と、全てのカテゴリーにおいて肯定的な回答が多くなっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・すべての年代において肯定的な回答が多くなっているが、29歳以下は他の年代にくらべると若干低い傾向にある。

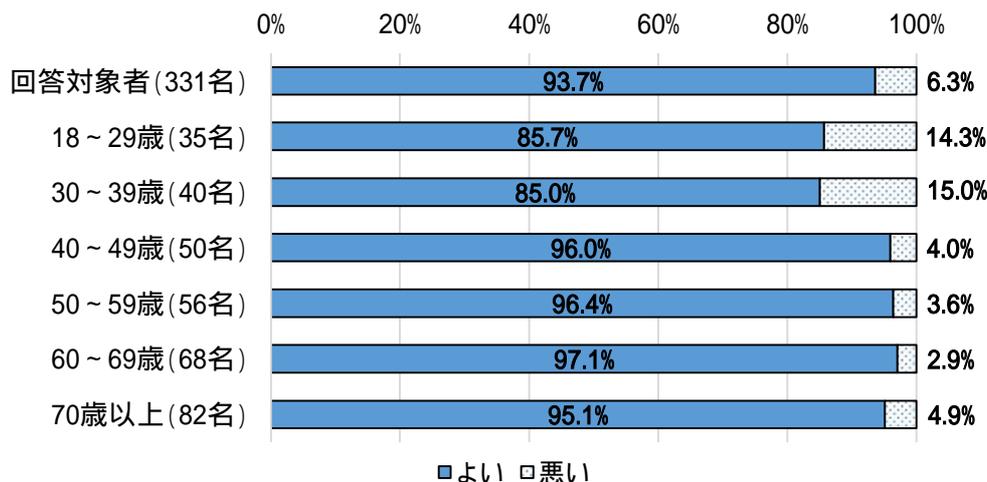
【文章・表現の分かりやすさ】

全体

	回答者数(331名)	
よい	310	93.7%
悪い	21	6.3%
合計	331	100.0%



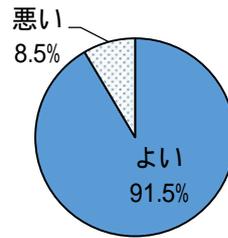
年代別



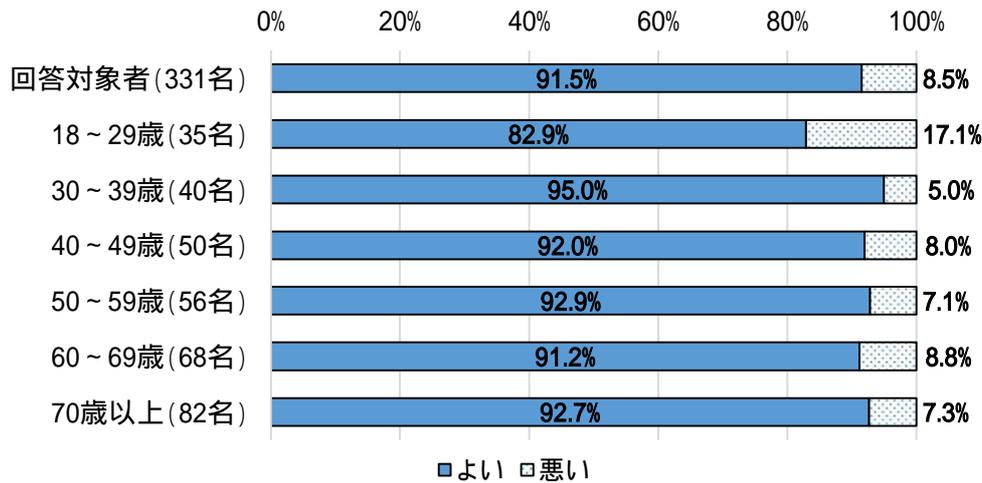
【ページの見やすさ】

全体

	回答者数(331名)	
よい	303	91.5%
悪い	28	8.5%
合計	331	100.0%



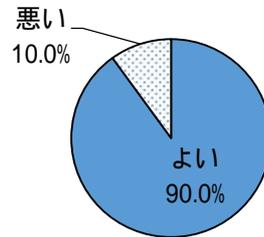
年代別



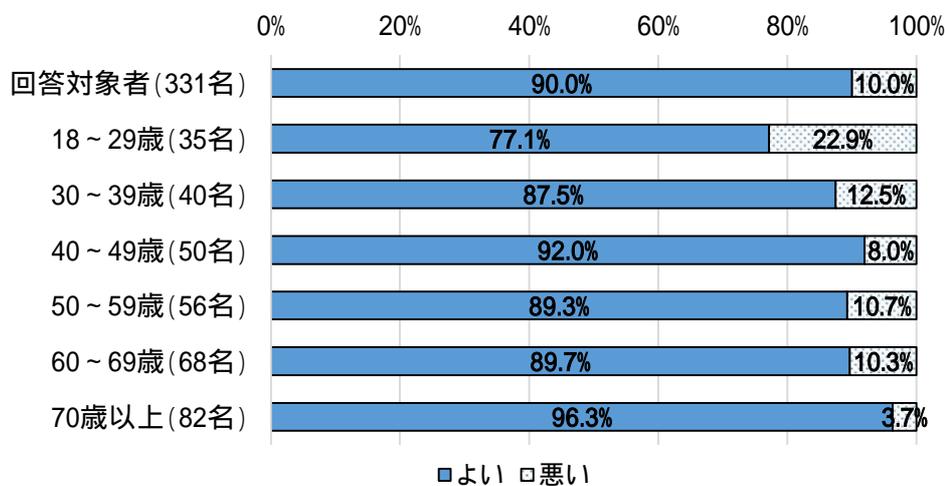
【色づかい】

全体

	回答者数(331名)	
よい	298	90.0%
悪い	33	10.0%
合計	331	100.0%



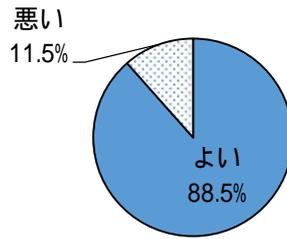
年代別



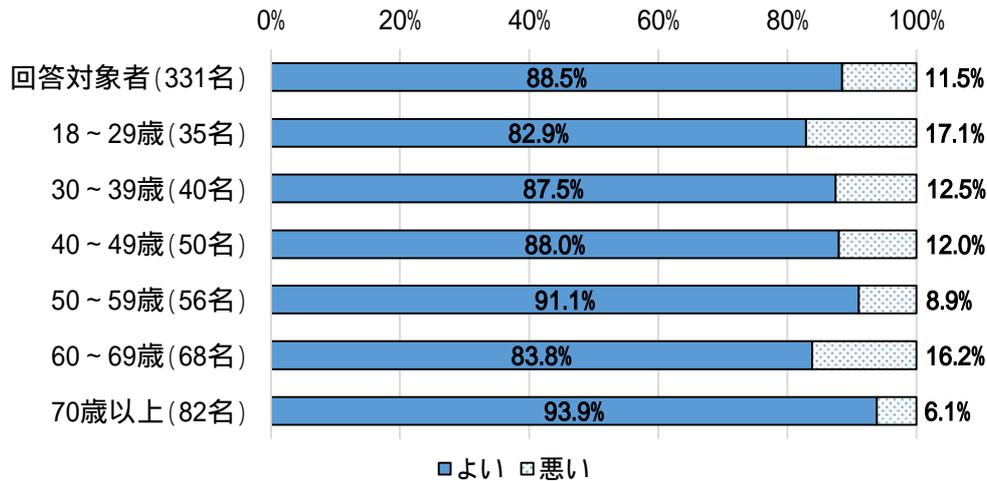
【写真・イラストの使い方】

全体

	回答者数 (331名)	
よい	293	88.5%
悪い	38	11.5%
合計	331	100.0%



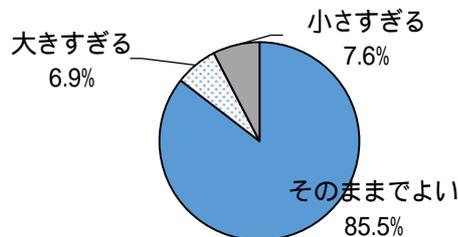
年代別



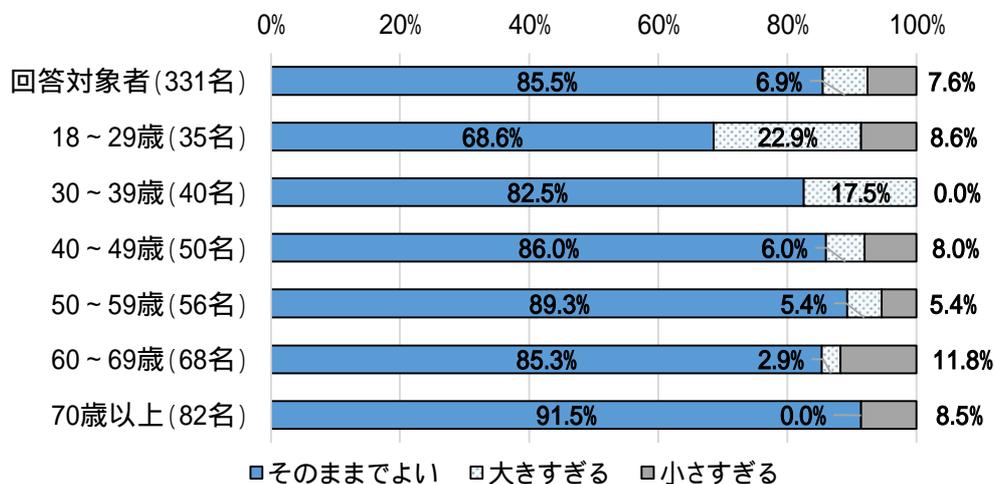
【文字の大きさ】

全体

	回答者数 (331名)	
そのままよい	283	85.5%
大きすぎる	23	6.9%
小さすぎる	25	7.6%
合計	331	100.0%



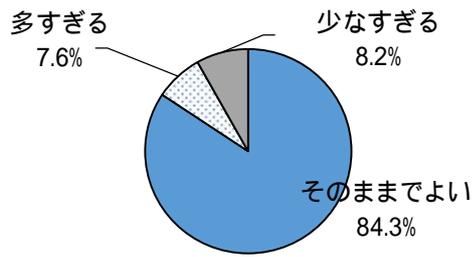
年代別



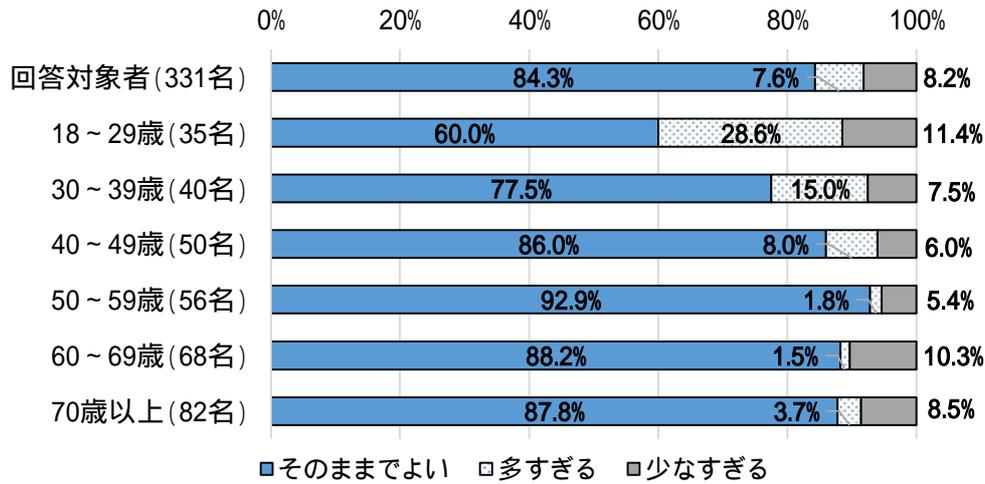
【情報の量】

全体

	回答者数(331名)	
そのままでよい	279	84.3%
多すぎる	25	7.6%
少なすぎる	27	8.2%
合計	331	100.0%



年代別



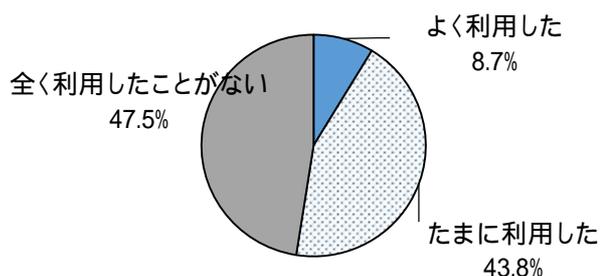
HPについて

問7 大阪市のHPを直近の1年間で、どの程度利用しましたか。

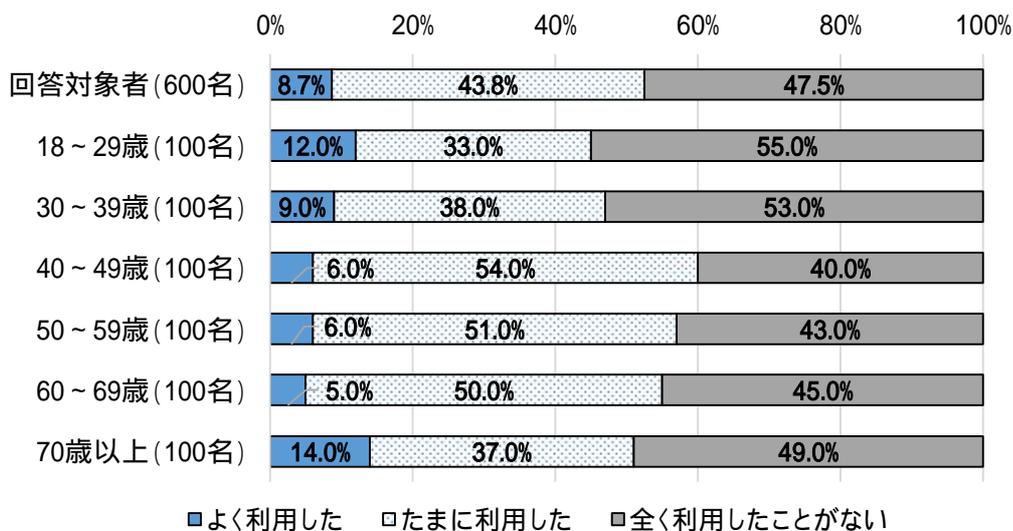
- ▶ 全体の傾向 ・「よく利用した」、「たまに利用した」と回答された方は合わせて 52.5%、「全く利用したことがない」と回答された方は 47.5%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「よく利用した」、「たまに利用した」と回答された方は、40 歳以上で5割を超えている。

全体

	回答者数 (600名)	
よく利用した	52	8.7%
たまに利用した	263	43.8%
全く利用したことがない	285	47.5%
合計	600	100.0%



【年代別】



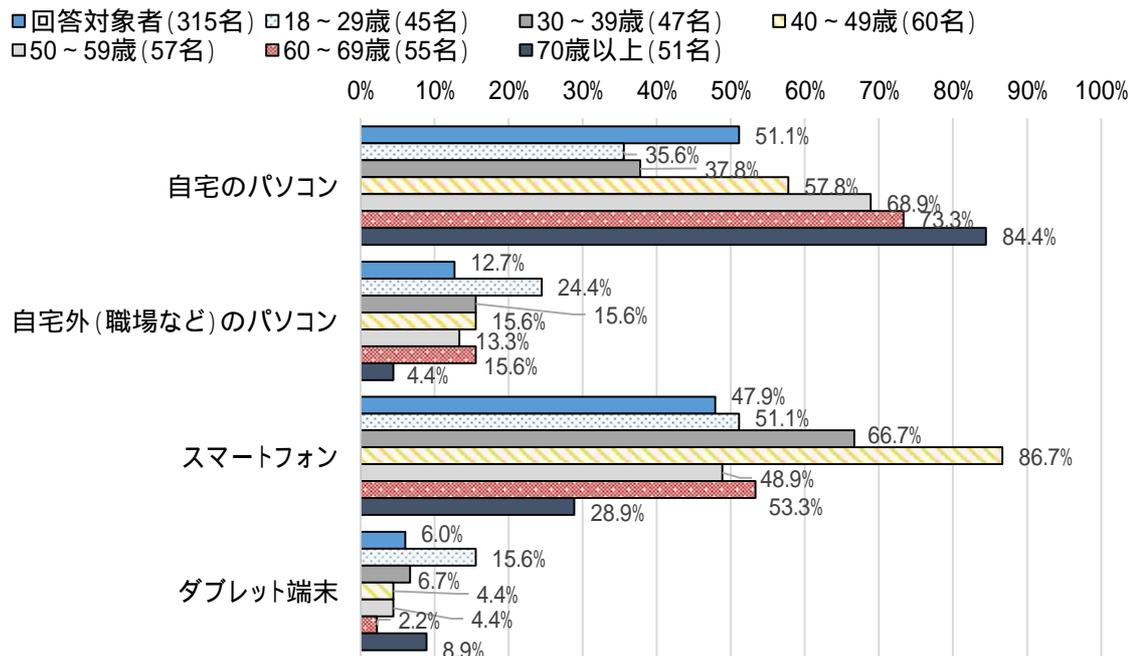
問8 問7で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。
 大阪市のHPを利用した際、主にどのような機器を使用しましたか。(複数回答可)

- ▶ 全体の傾向 ・「自宅のパソコン」と回答された方が 51.1%と最も高く、次いで「スマートフォン」と回答された方が 47.9%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「自宅のパソコン」と回答された方の割合は、70 歳以上で8割、60 歳代では7割を超えているが、30 歳代以下では4割を下回っている。
 一方、「スマートフォン」と回答された方の割合は、40 歳代で8割、30 歳代で6割を超えているが、70 歳以上では3割を下回っている。

全体



年代別



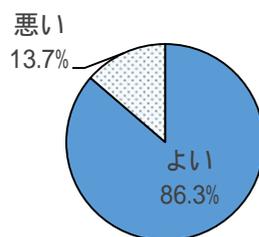
問9 問7で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。
 大阪市のHPを利用した際、どのような印象を受けましたか。

- ▶ 全体の傾向 ・【ページの見やすさ】について「よい」と回答された方が 86.3%、【色づかい】について「よい」と回答された方が 87.0%、【写真・イラストの使い方】について「よい」と回答された方が 86.7%、【情報の量】について「そのままよい」と回答された方が 73.7%と、全てのカテゴリーについて肯定的な回答が多くなっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・すべての年代において肯定的な回答が多いが、【情報の量】については、39 歳以下で「多すぎる」と回答した割合が約3割で、他の年代と比べ多くなっている。

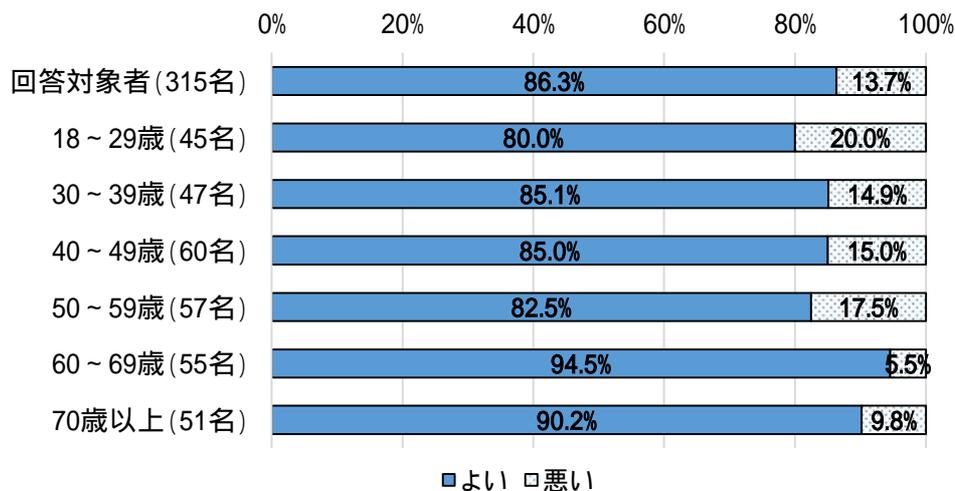
【ページの見やすさ】

全体

	回答者数 (315名)	
よい	272	86.3%
悪い	43	13.7%
合計	315	100.0%



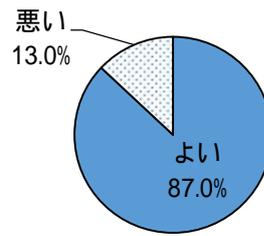
年代別



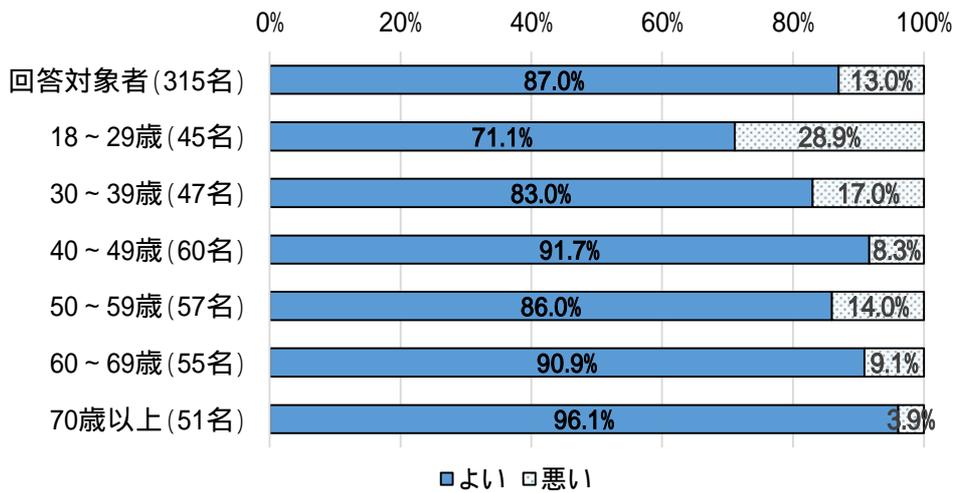
【色づかい】

全体

	回答者数 (315名)	
よい	274	87.0%
悪い	41	13.0%
合計	315	100.0%



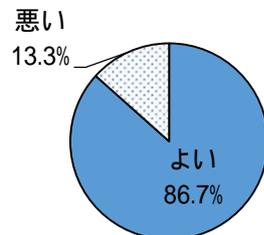
年代別



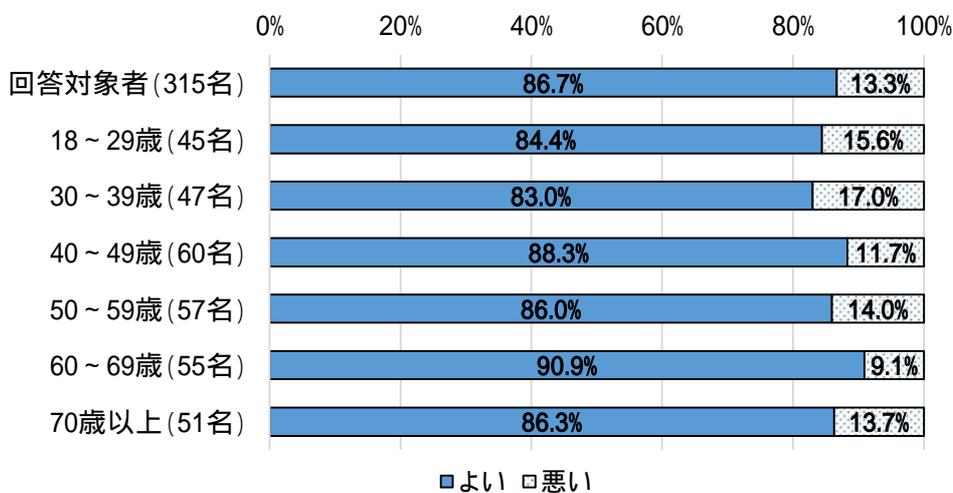
【写真・イラストの使い方】

全体

	回答者数 (315名)	
よい	273	86.7%
悪い	42	13.3%
合計	315	100.0%



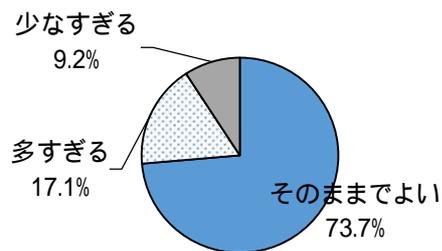
年代別



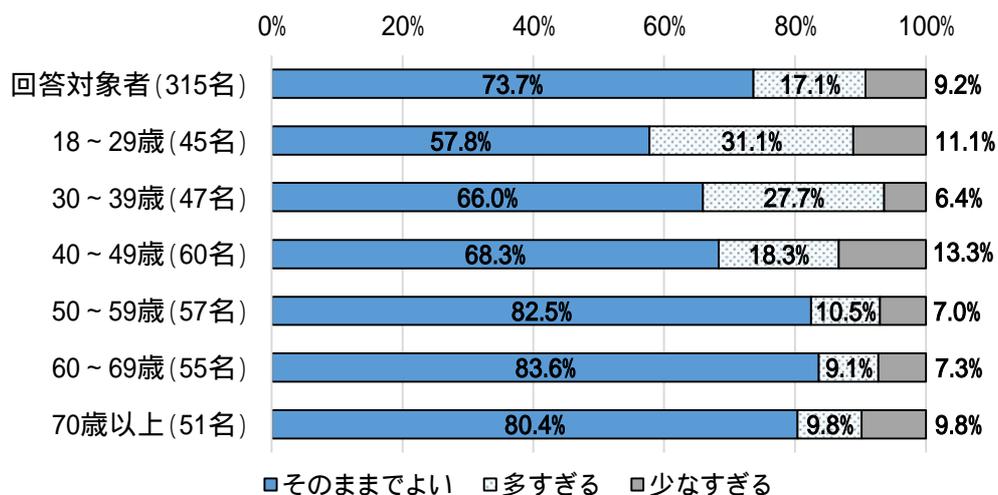
【情報の量】

全体

	回答者数 (315名)	
そのままよい	232	73.7%
多すぎる	54	17.1%
少なすぎる	29	9.2%
合計	315	100.0%



年代別

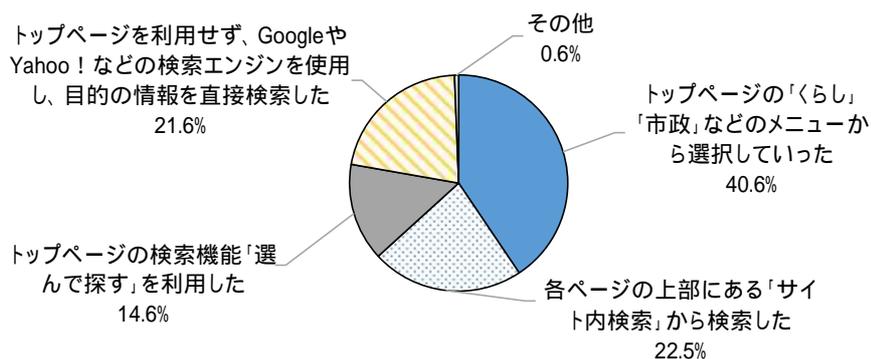


問 10 問7で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。
 大阪市のHPを利用した際、目的の情報をどのように探されましたか。

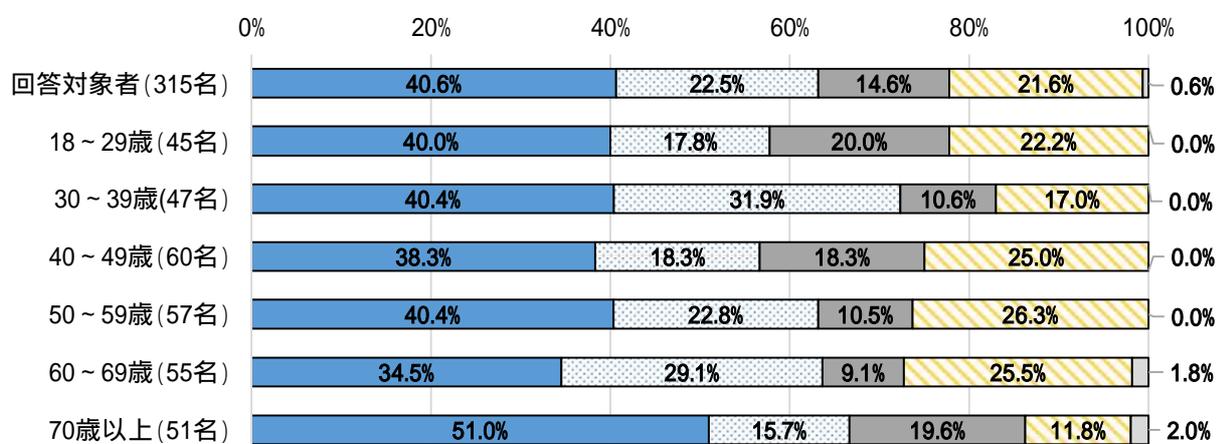
- ▶ 全体の傾向 ・大阪市のHPを使って探した方は77.8%で、検索エンジンを使用し目的の情報を直接検索した方は21.6%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・大阪市のHPを使って探した方は70歳以上で86.3%と最も高く、次いで30歳代で83.0%となっている。

全体

	回答者数(315名)	
トップページの「暮らし」「市政」などのメニューから選択していった	128	40.6%
各ページの上部にある「サイト内検索」から検索した	71	22.5%
トップページの検索機能「選んで探す」を利用した	46	14.6%
トップページを利用せず、GoogleやYahoo!などの検索エンジンを使用し、目的の情報を直接検索した	68	21.6%
その他	2	0.6%
合計	315	100.0%



年代別



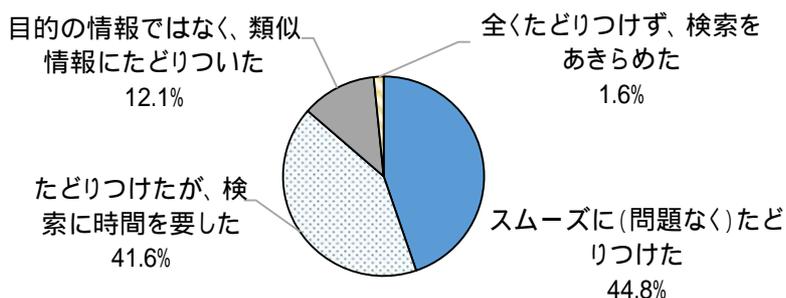
- トップページの「暮らし」「市政」などのメニューから選択していった
- 各ページの上部にある「サイト内検索」から検索した
- トップページの検索機能「選んで探す」を利用した
- トップページを利用せず、GoogleやYahoo!などの検索エンジンを使用し、目的の情報を直接検索した
- その他

問 11 問7で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。
 目的の情報にたどりつけましたか。

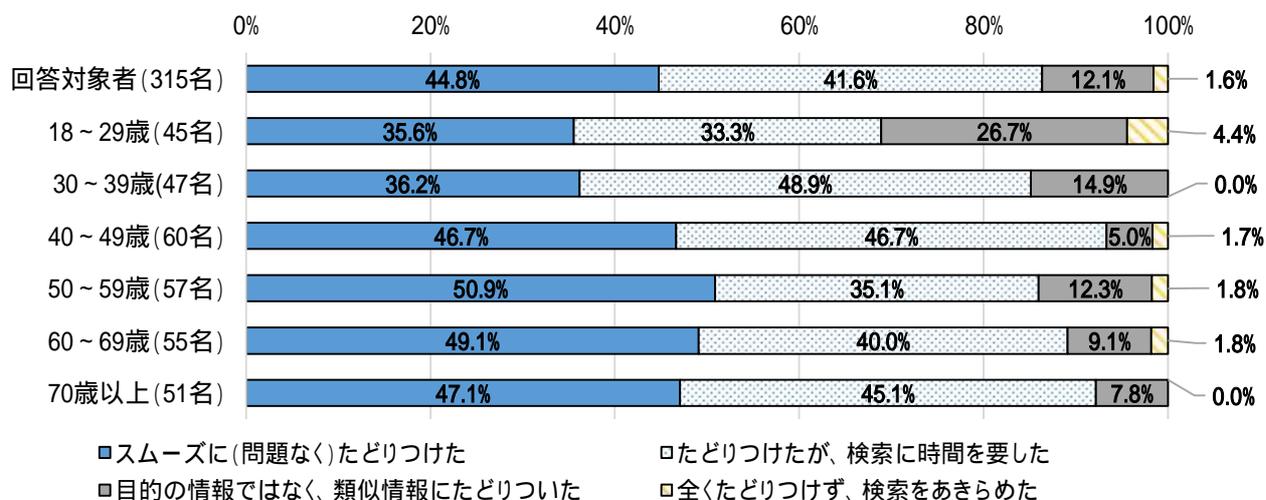
- 全体の傾向 ・「スムーズに(問題なく)たどりつけた」と回答された方が 44.8%、「たどりつけたが、検索に時間を要した」と回答された方が 41.6%と、合わせて8割を超えている。
- 年代別の傾向 ・「スムーズに(問題なく)たどりつけた」、「たどりつけたが、検索に時間を要した」と回答された方の割合が 29 歳以下で7割程度、それ以外の年代では8割を超えている。

全体

	回答者数(315名)	
スムーズに(問題なく)たどりつけた	141	44.8%
たどりつけたが、検索に時間を要した	131	41.6%
目的の情報ではなく、類似情報にたどりついた	38	12.1%
全くたどりつけず、検索をあきらめた	5	1.6%
合計	315	100.0%



年代別

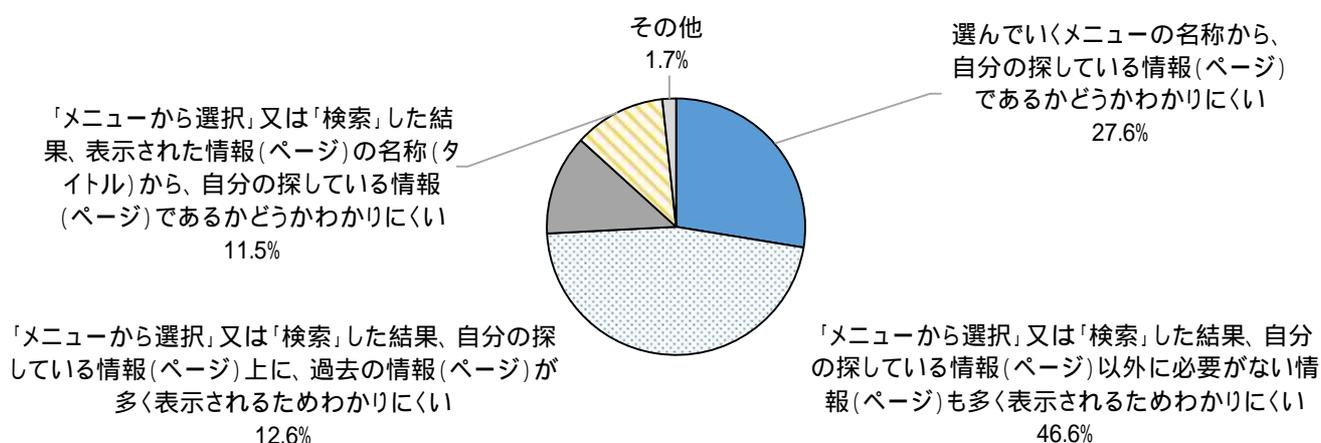


問 12 問 11 で「たどりつけたが、検索に時間を要した」「目的の情報ではなく、類似情報にたどりついた」「全くたどりつけず、検索をあきらめた」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。
目的の情報が見つげにくかったのは、どのような理由によるのですか。

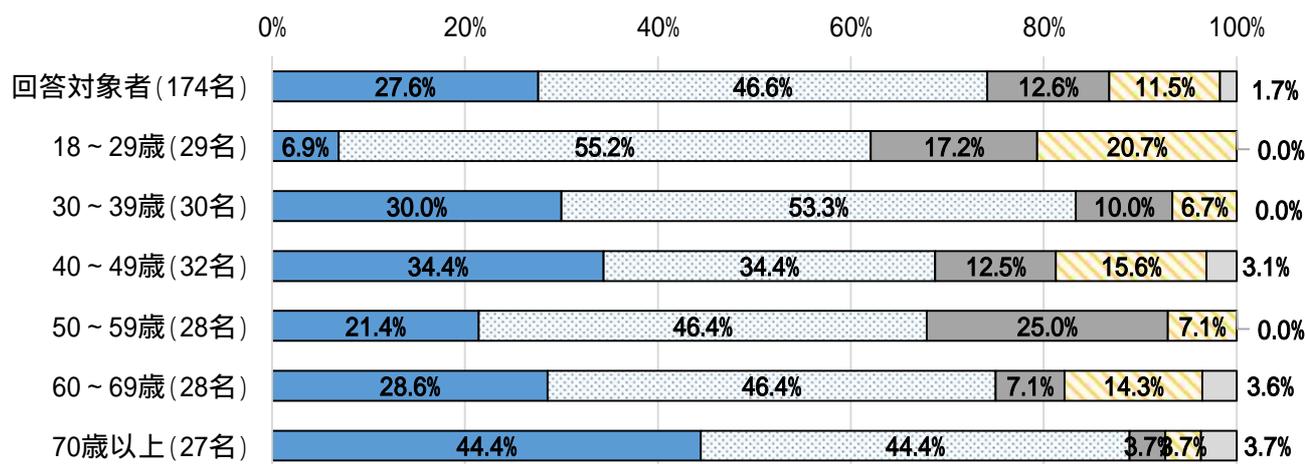
- ▶ 全体の傾向 ・「メニューから選択」又は「検索」した結果、自分の探している情報(ページ)以外に必要な情報(ページ)も多く表示されるためわかりにくい」と回答された方が 46.6%と最も高く、次いで「選んでいくメニューの名称から、自分の探している情報(ページ)であるかどうかわかりにくい」と回答された方が 27.6%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「メニューから選択」又は、「検索」した結果、自分の探している情報(ページ)以外に必要な情報(ページ)も多く表示されるためわかりにくい」と回答された方は、29歳以下で 55.2%と最も高くなっている。

全体

	回答者数(174名)	
選んでいくメニューの名称から、自分の探している情報(ページ)であるかどうかわかりにくい	48	27.6%
「メニューから選択」又は「検索」した結果、自分の探している情報(ページ)以外に必要な情報(ページ)も多く表示されるためわかりにくい	81	46.6%
「メニューから選択」又は「検索」した結果、自分の探している情報(ページ)上に、過去の情報(ページ)が多く表示されるためわかりにくい	22	12.6%
「メニューから選択」又は「検索」した結果、表示された情報(ページ)の名称(タイトル)から、自分の探している情報(ページ)であるかどうかわかりにくい	20	11.5%
その他	3	1.7%
合計	174	100.0%



年代別



- 選んでいくメニューの名称から、自分の探している情報(ページ)であるかどうかわかりにくい
- 「メニューから選択」又は「検索」した結果、自分の探している情報(ページ)以外に必要な情報(ページ)も多く表示されるためわかりにくい
- 「メニューから選択」又は「検索」した結果、自分の探している情報(ページ)上に、過去の情報(ページ)が多く表示されるためわかりにくい
- 「メニューから選択」又は「検索」した結果、表示された情報(ページ)の名称(タイトル)から、自分の探している情報(ページ)であるかどうかわかりにくい
- その他

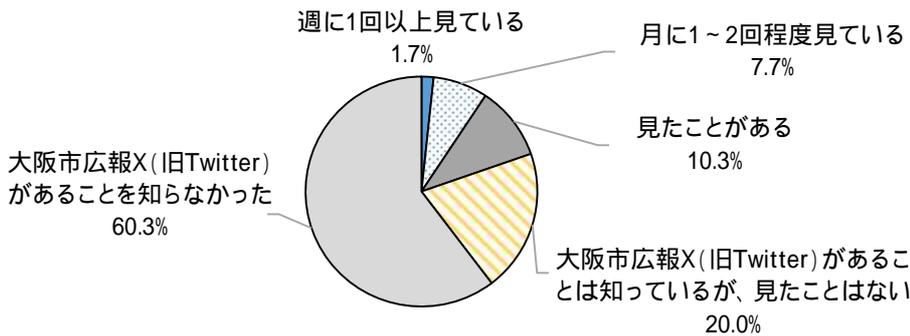
SNS について

問 13 大阪市広報 X(旧 Twitter)【アカウント名: @osakacity_koho】をご覧になったことはありますか。

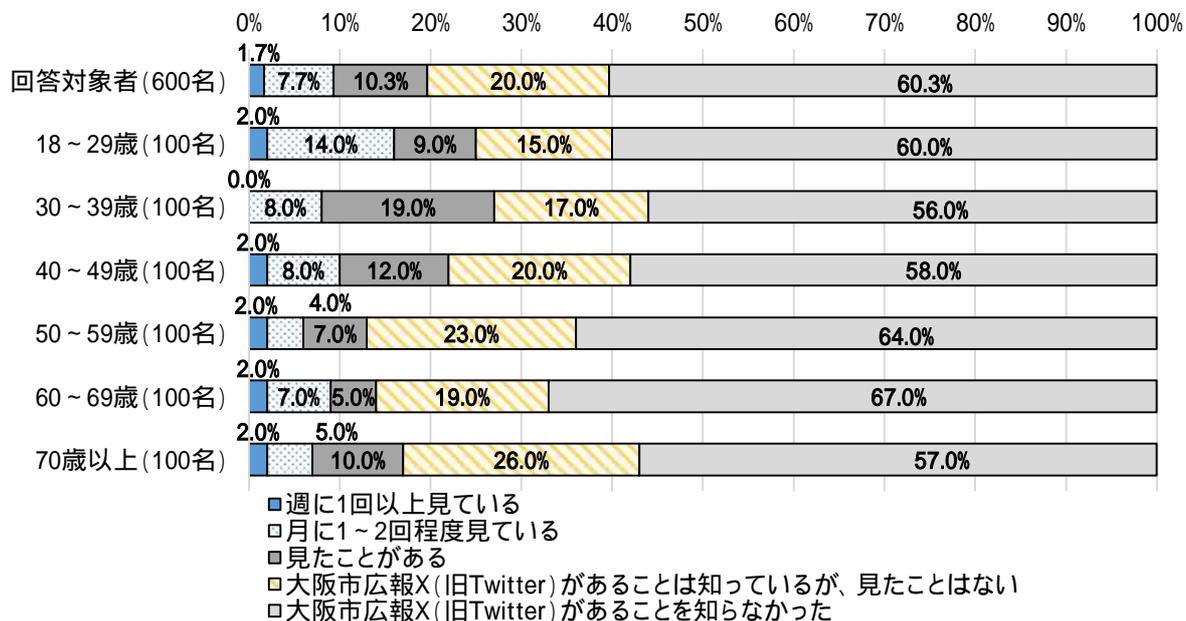
- ▶ 全体の傾向 ・「見ている」、「見たことがある」と回答された方は合わせて 19.7%であり、「見たことはない」、「知らなかった」と回答された方は合わせて 80.3%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「見ている」、「見たことがある」と回答された方の割合は、50 歳以上で 2 割を下回っている。

全体

	回答者数(600名)	
週に1回以上見ている	10	1.7%
月に1~2回程度見ている	46	7.7%
見たことがある	62	10.3%
大阪市広報X(旧Twitter)があることは知っているが、見たことはない	120	20.0%
大阪市広報X(旧Twitter)があることを知らなかった	362	60.3%
合計	600	100.0%



年代別

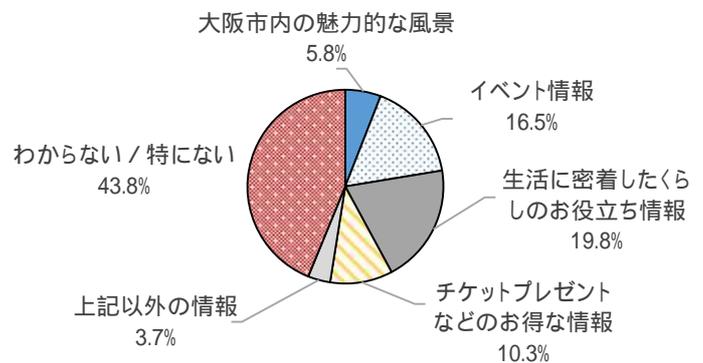


問 14 より広く皆さんに大阪市広報 X(旧 Twitter)を見ていただくために、あなたがあればいいと思う情報は何か。

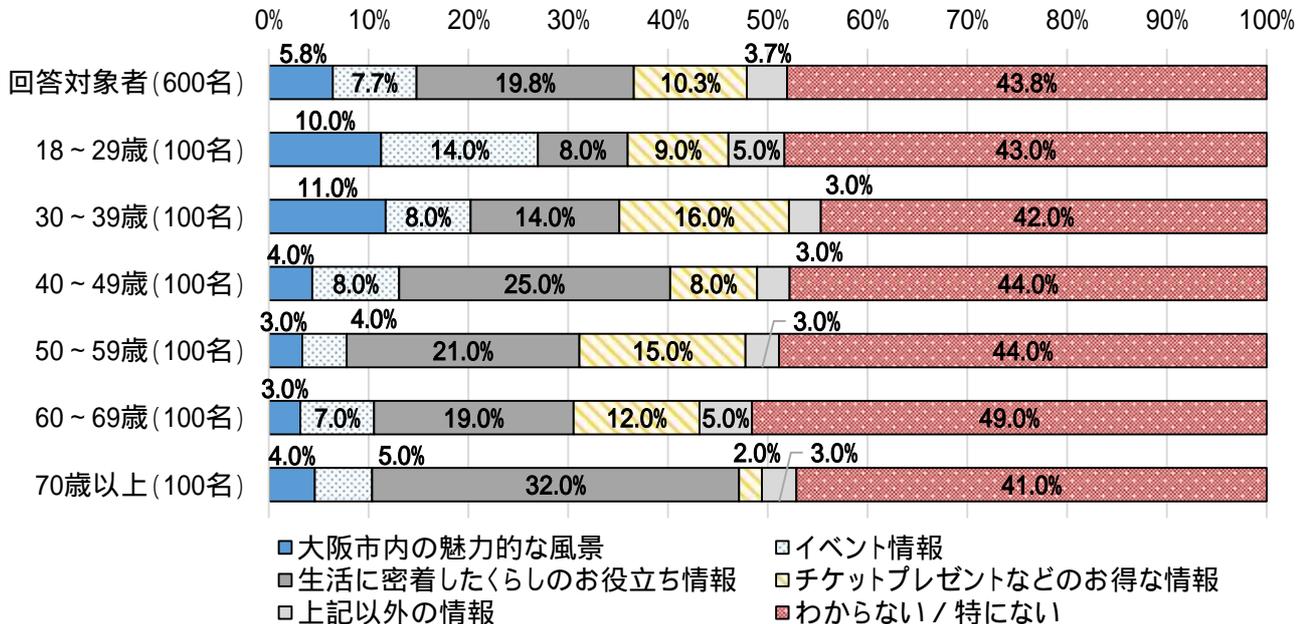
- ▶ 全体の傾向
 - ・「生活に密着した暮らしのお役立ち情報」と回答された方が 19.8%と最も高く、次いで「イベント情報」と回答された方が 16.5%となっている。
 - 一方、「分からない/特にない」と回答された方は 43.8%となっている。
- ▶ 年代別の傾向
 - ・「生活に密着した暮らしのお役立ち情報」と回答された方の割合は、70 歳以上では 32.0%となっており、次いで 40 歳代で 25.0%となっている。
 - 一方、「分からない/特にない」と回答された方の割合は、すべての年代において4割を超えている。

全体

	回答者数 (600名)	
大阪市内の魅力的な風景	35	5.8%
イベント情報	99	16.5%
生活に密着した暮らしのお役立ち情報	119	19.8%
チケットプレゼントなどのお得な情報	62	10.3%
上記以外の情報	22	3.7%
わからない/特にない	263	43.8%
合計	600	100.0%



年代別

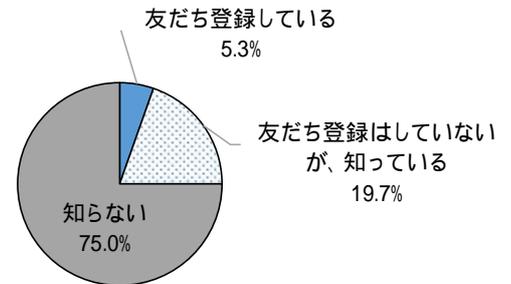


問 15 大阪市 LINE 公式アカウント【アカウント名@osakacity】をご存じですか。

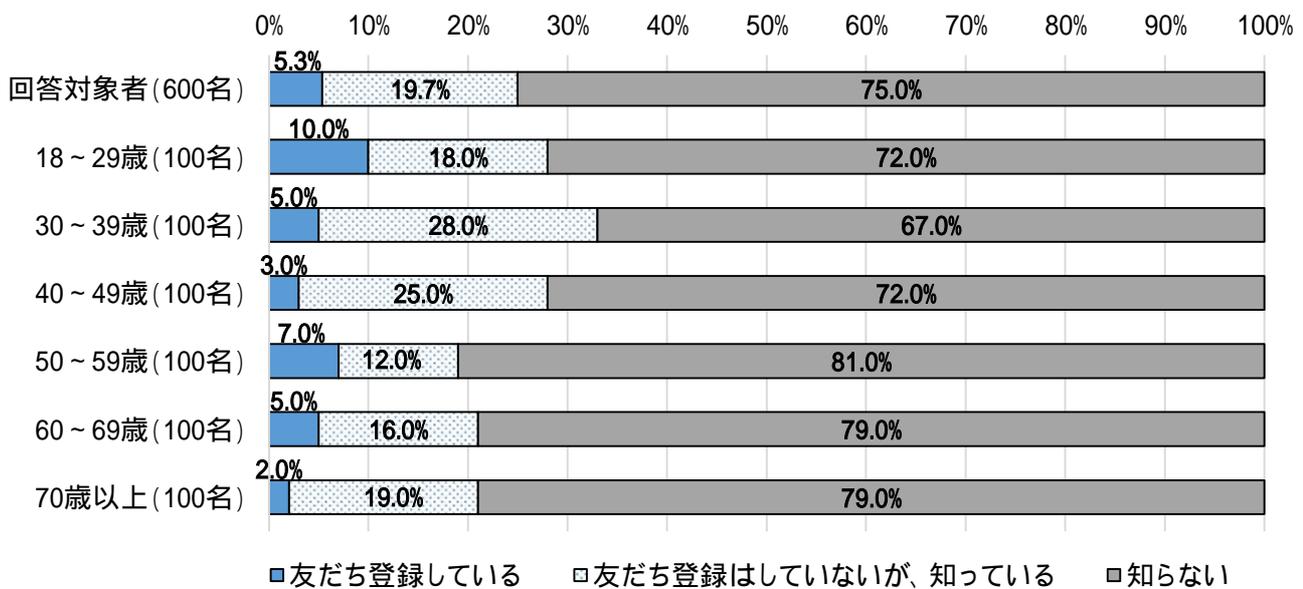
- ▶ 全体の傾向 ・「友だち登録している」、「知っている」と回答された方は合わせて 25.0%であり、「知らない」と回答された方は 75.0%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「友だち登録している」、「知っている」と回答された方は、30 歳代で 33.0%と最も高く、50 歳代が 19.0%と最も低くなっている。

全体

	回答者数 (600名)	
友だち登録している	32	5.3%
友だち登録はしていないが、知っている	118	19.7%
知らない	450	75.0%
合計	600	100.0%



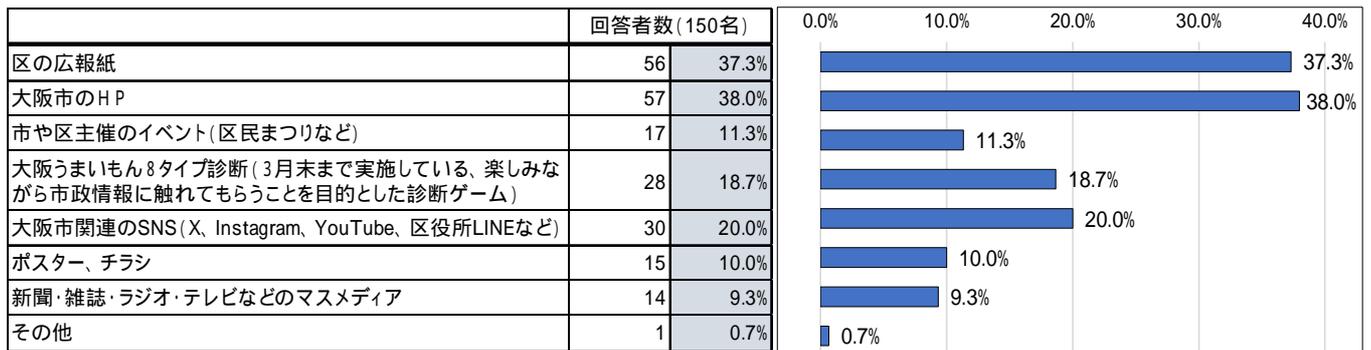
年代別



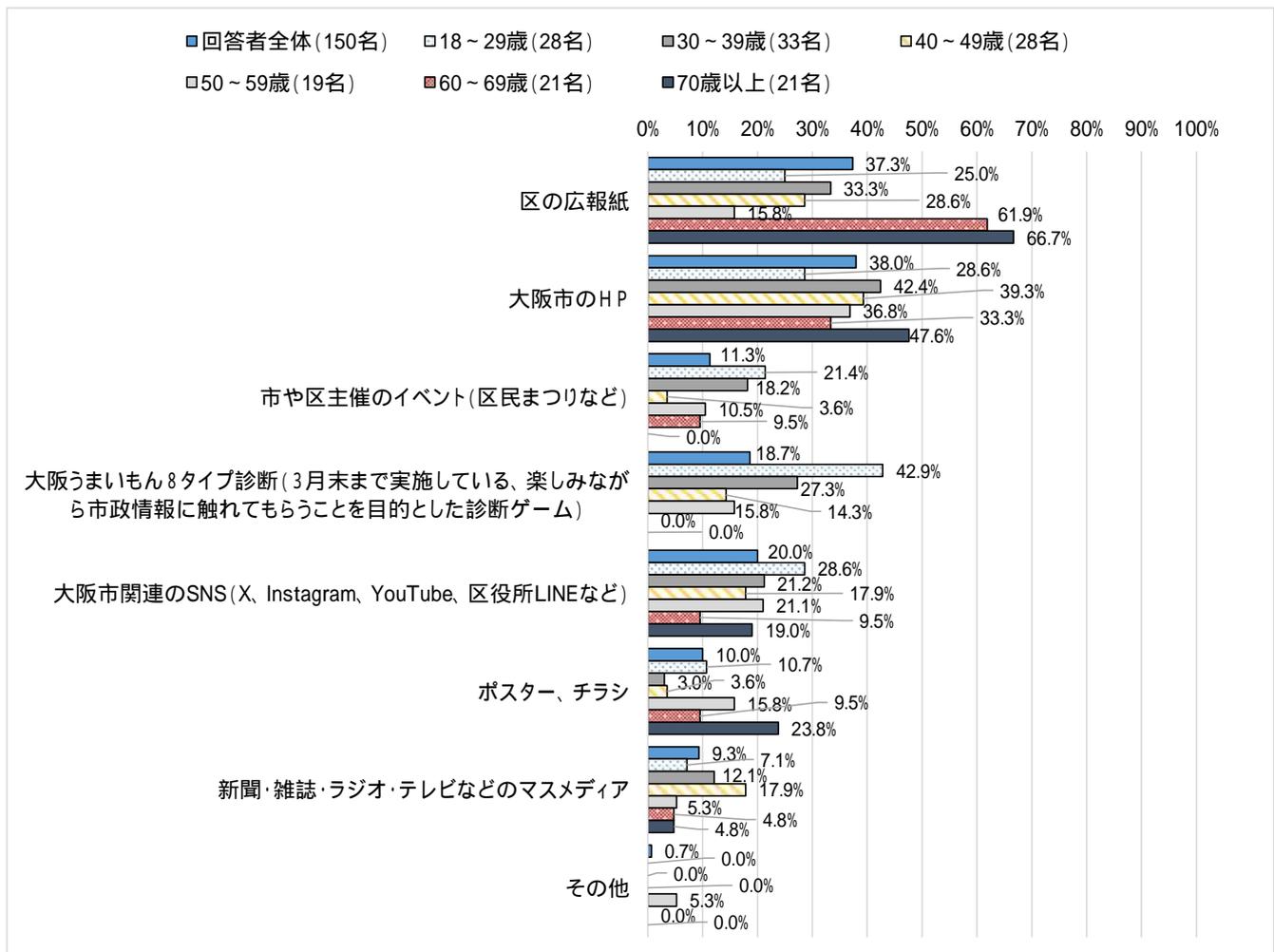
問 16 あなたは、大阪市 LINE 公式アカウントを何で知りましたか。(複数選択可)

- ▶ 全体の傾向 ・「大阪市の HP」と回答された方は 38.0%と最も高く、次いで「区の広報紙」と回答された方が 37.3%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「大阪市の HP」と回答された方は、70 歳以上で 47.6%と最も高く、次いで 30 歳代で 42.4%となっている。

全体



年代別



問 17 大阪市では、以下のカテゴリとリッチメニューで情報を発信しています。
 今後、大阪市 LINE 公式アカウントを友だち登録したいと思いますか。

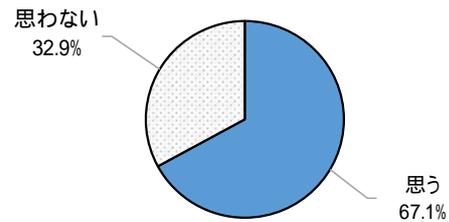
- 【受信を希望するカテゴリ】
- 2025大阪・関西万博 暮らし・住まい
 - 市民活動・コミュニティ 防災
 - 防犯・地域安全 救急・消防
 - 妊娠・出産 こども・教育 高齢者
 - 生活福祉・障がい 健康・医療
 - スポーツ 文化芸術・観光
 - 市政・市長会見 職員採用



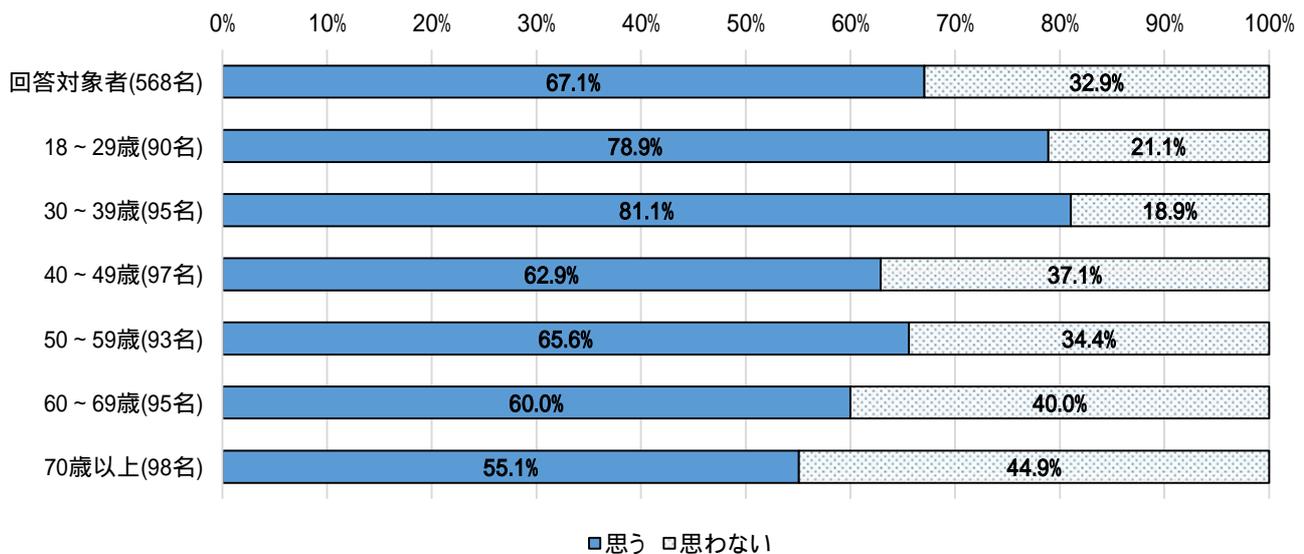
- ▶ 全体の傾向 ・「思う」と回答された方が 67.1%、「思わない」と回答された方は 32.9%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「思う」と回答された方は、30 歳代で 81.1%と最も高く、70 歳以上で 55.1%と最も低くなっている。

全体

	回答者数 (568名)	
思う	381	67.1%
思わない	187	32.9%
合計	568	100.0%



年代別

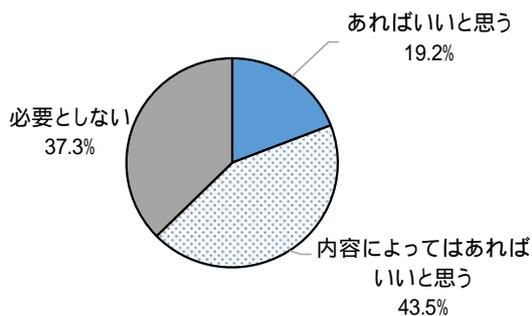


問 18 大阪市 LINE 公式アカウントで、個人の属性情報(居住地、年齢、お子さんの年齢など)に合わせた情報発信があればいいと思いますか。

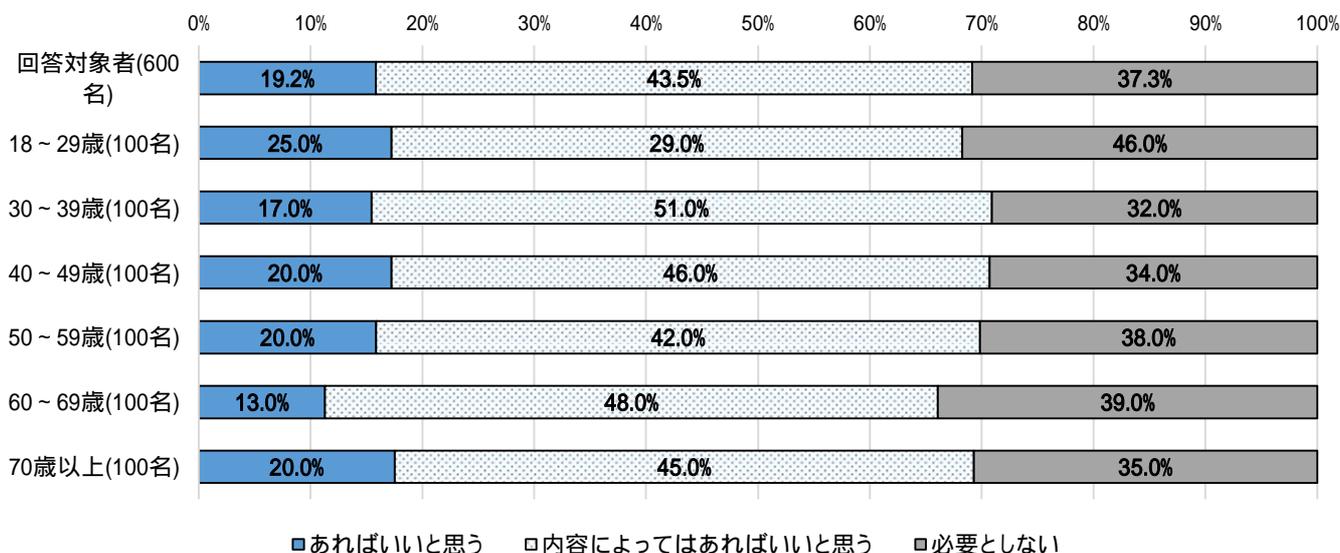
- ▶ 全体の傾向 ・「あればいいと思う」と回答された方は合わせて 62.7%であり、「必要としない」と回答された方は 37.3%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「あればいいと思う」「内容によってはあればいいと思う」と回答された方は、29 歳以下を除き6割を超えている。

全体

	回答者数(600名)	
あればいいと思う	115	19.2%
内容によってはあればいいと思う	261	43.5%
必要としない	224	37.3%
合計	600	100.0%



年代別



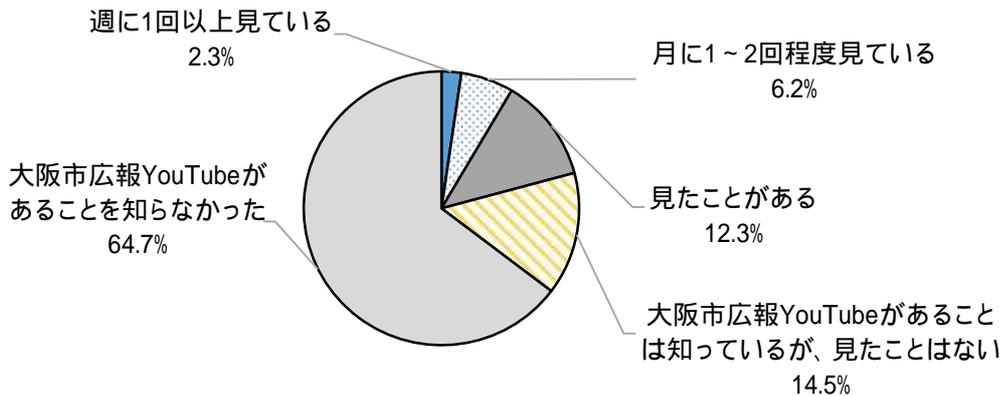
動画について

問 19 大阪市広報 YouTube【アカウント名:大阪市広報】を見たことはありますか。

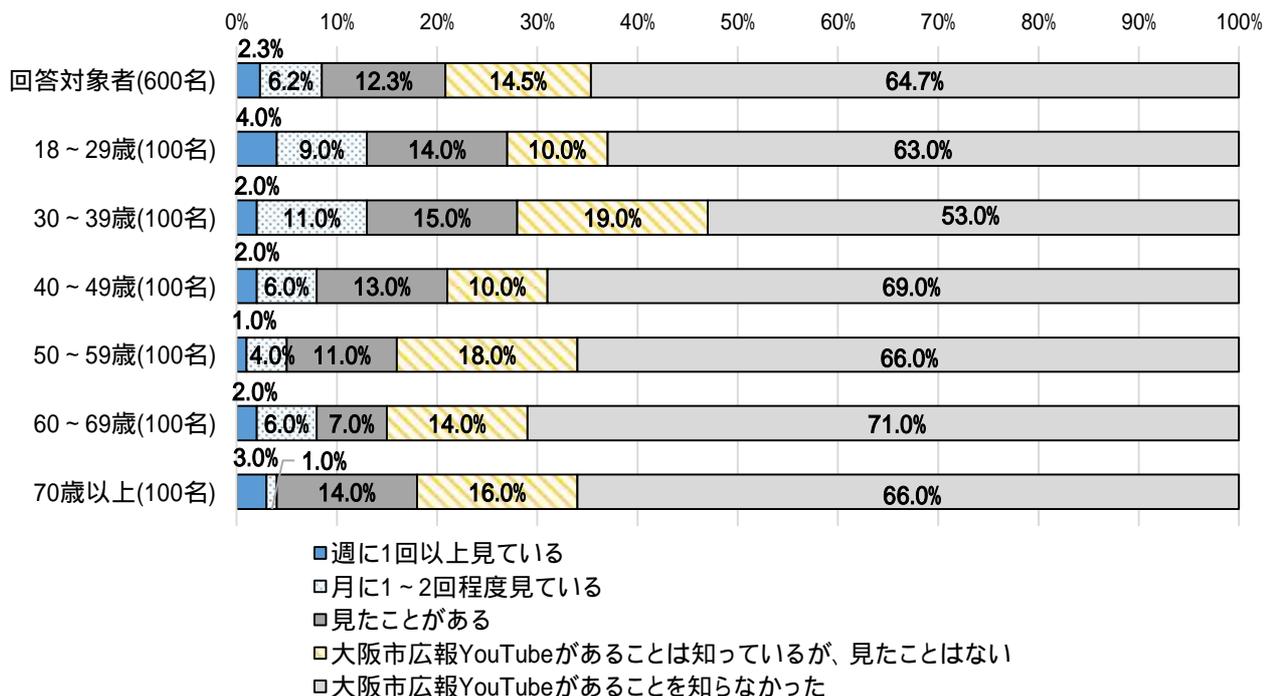
- ▶ 全体の傾向 ・「見ている」、「見たことがある」と回答された方は合わせて 20.8%であり、「見たことはない」、「知らなかった」と回答された方は合わせて 79.2%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・全年代で「知らなかった」と回答された割合が最も高くなっている。

全体

	回答者数(600名)	
週に1回以上見ている	14	2.3%
月に1~2回程度見ている	37	6.2%
見たことがある	74	12.3%
大阪市広報YouTubeがあることは知っているが、見たことはない	87	14.5%
大阪市広報YouTubeがあることを知らなかった	388	64.7%
合計	600	100.0%



年代別

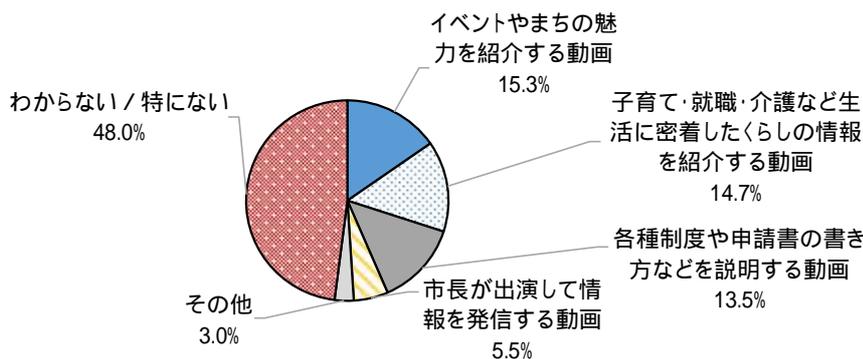


問 20 より広く皆さんに大阪市広報 YouTube を見ていただくために、あなたがあればいいと思う動画は何ですか。

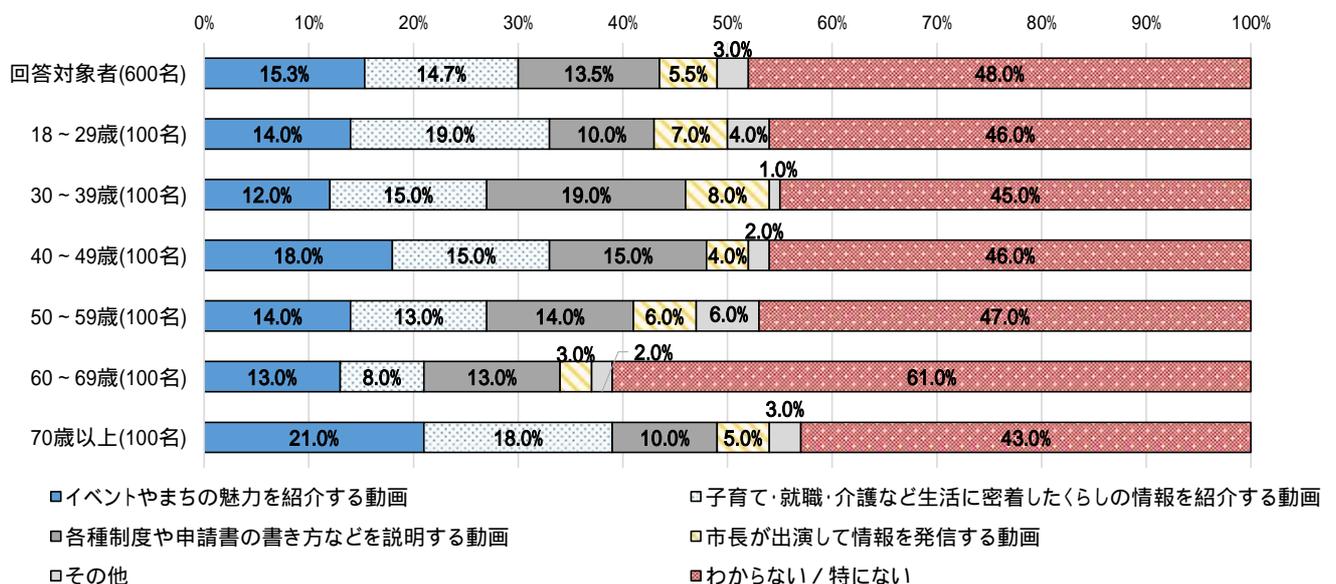
- ▶ 全体の傾向 ・「イベントやまちの魅力を紹介する動画」と回答された方は 15.3%と最も高く、次いで「子育て・就職・介護など生活に密着したくらしの情報を紹介する動画」と回答された方が 14.7%となっている。
 一方、「わからない／特にない」と回答された方は 48.0%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「イベントやまちの魅力を紹介する動画」と回答された方は、70 歳以上で 21.0%と最も高く、30 歳代で 12.0%と最も低くなっている。

全体

	回答者数 (600名)	
イベントやまちの魅力を紹介する動画	92	15.3%
子育て・就職・介護など生活に密着したくらしの情報を紹介する動画	88	14.7%
各種制度や申請書の書き方などを説明する動画	81	13.5%
市長が出演して情報を発信する動画	33	5.5%
その他	18	3.0%
わからない／特にない	288	48.0%
合計	600	100.0%



年代別

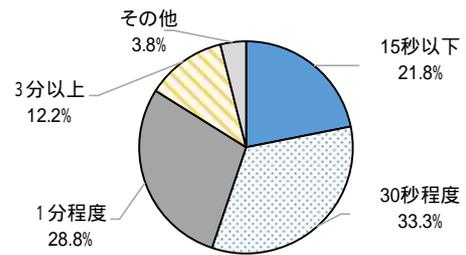


問 21 YouTube やデジタルサイネージで市政情報を見る場合、どれくらいの時間が適切だと思いますか。

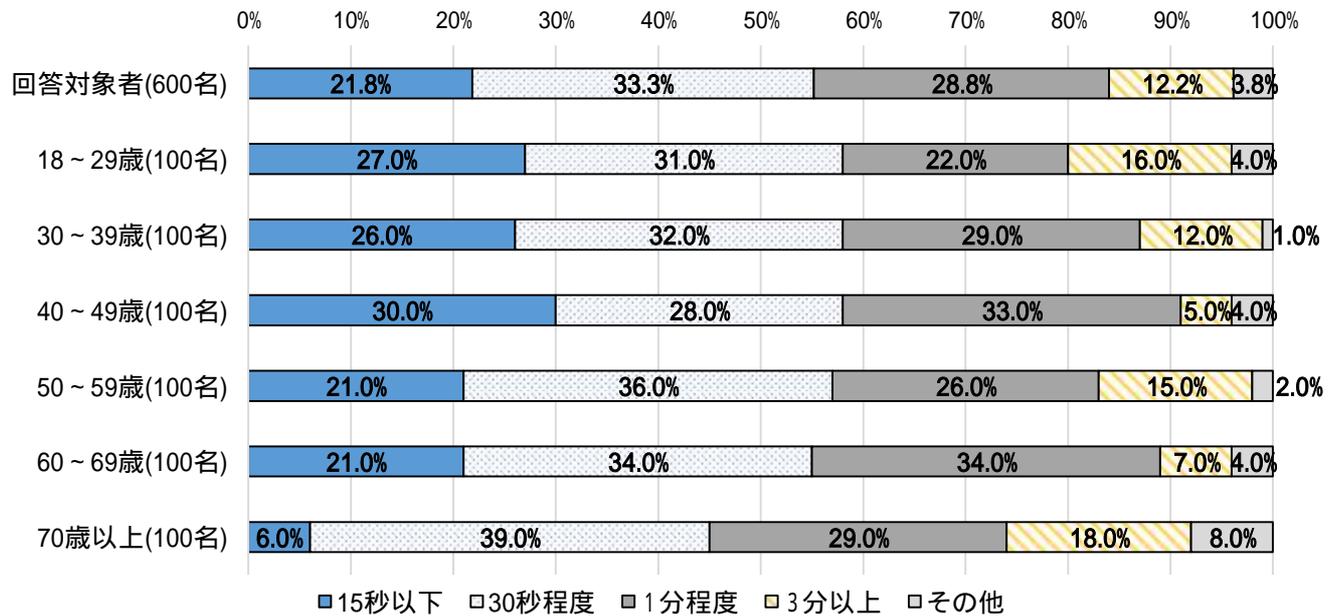
- ▶ 全体の傾向 ・「30 秒程度」と回答された方が 33.3%と最も高く、次いで「1分程度」と回答された方が 28.8%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「30 秒程度」と回答された方は、70 歳以上で 39.0%と最も高く、40 歳代で 28.0%と最も低くなっている。

全体

	回答者数 (600名)	
15秒以下	131	21.8%
30秒程度	200	33.3%
1分程度	173	28.8%
3分以上	73	12.2%
その他	23	3.8%
合計	600	100.0%



年代別



<災害時の情報収集について>

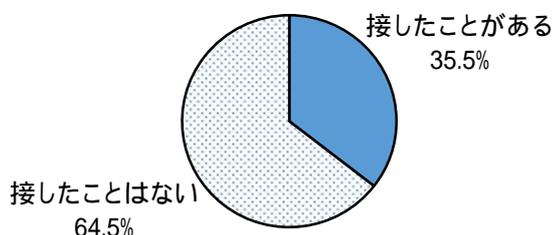
問 22 大阪市では、地震や台風などの災害時において、大阪市防災アプリ、防災行政無線(屋外スピーカー)、大阪市・区HP、X(旧 Twitter)、大阪市 LINE 公式アカウント、広報車、テレビ、ラジオなどさまざまな手段により災害情報をお知らせしています。

あなたは、これらの情報に接したことがありますか。

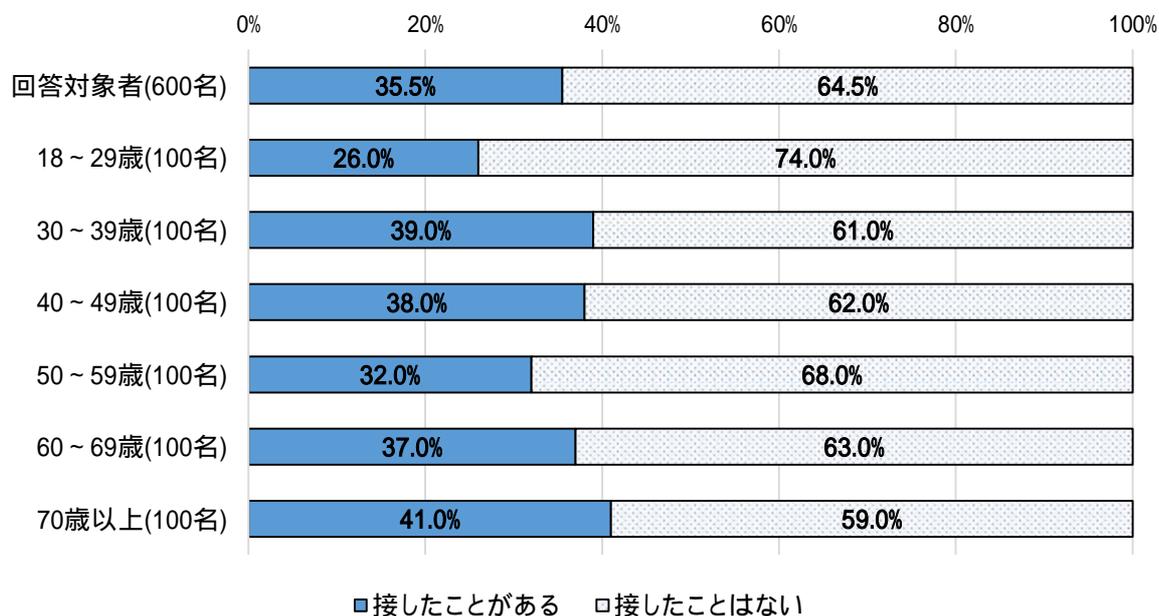
- ▶ 全体の傾向 ・「接したことがある」と回答された方が 35.5%、「接したことはない」と回答された方が 64.5%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「接したことがある」と回答された方は 70 歳以上で 41.0%と最も高く、その他の年代で3～4割程度となっている。

全体

	回答者数(600名)	
接したことがある	213	35.5%
接したことはない	387	64.5%
合計	600	100.0%



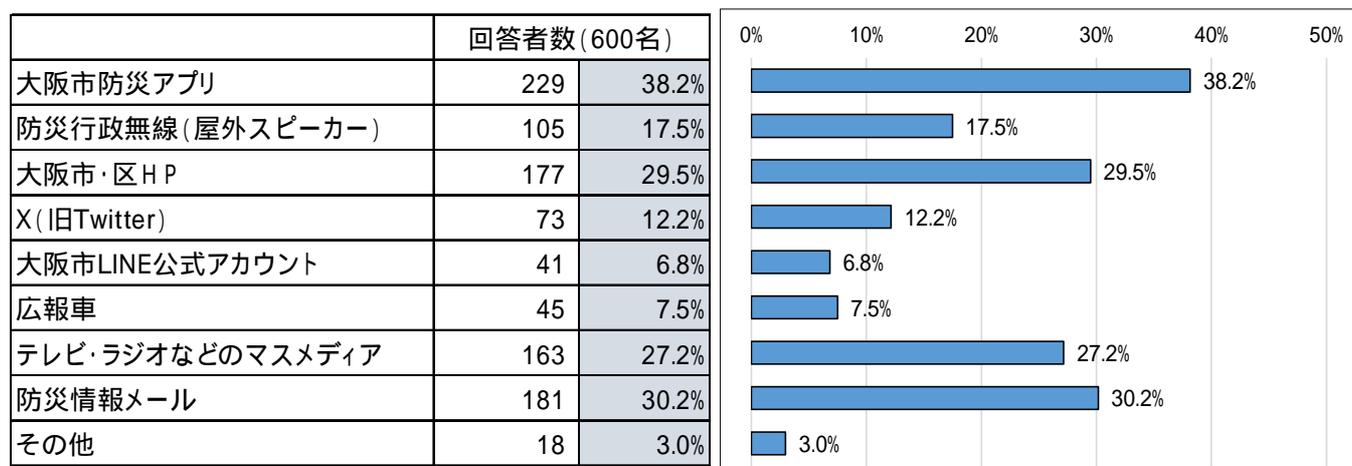
年代別



問 23 災害時において情報を得るため、より充実してほしい媒体・メディアは何ですか。(3つまで回答可)

- ▶ 全体の傾向 ・「大阪市防災アプリ」と回答された方は 38.2%と最も高く、次いで「防災情報メール」と回答された方は 30.2%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「大阪市防災アプリ」と回答された方の割合は、40 歳以上で4割程度となっているが、39 歳以下では2～3割となっている。
また、「大阪市・区 HP」と回答された方の割合は、年代による大きな違いはみられない。
「テレビ・ラジオなどのマスメディア」と回答された方の割合は、29 歳以下で 15%、30～60 歳代では3割程度となっているが、一方 70 歳以上は 42.0%と最も高くなっている。

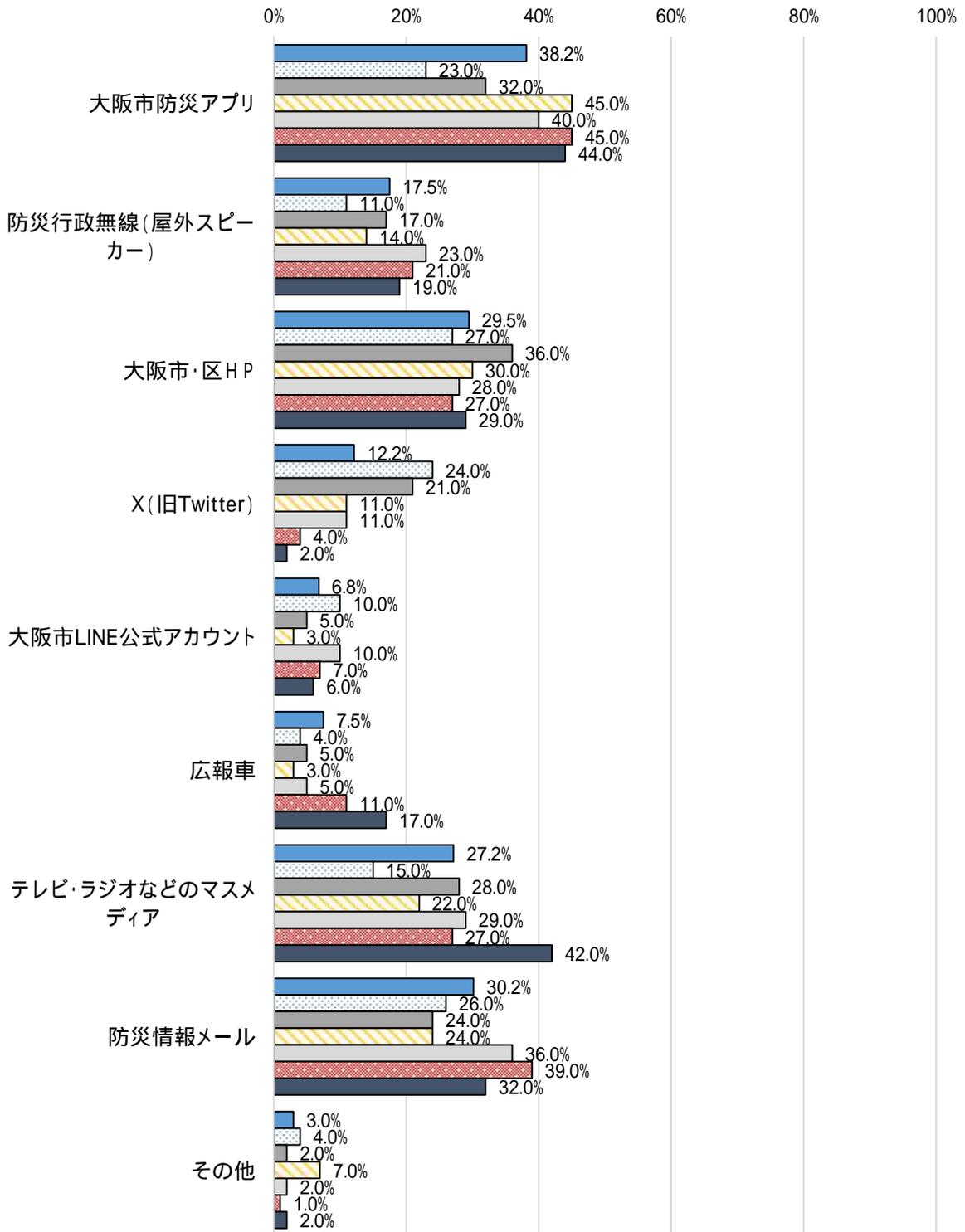
全体



年代別

	18～29歳(100名)		30～39歳(100名)		40～49歳(100名)		50～59歳(100名)		60～69歳(100名)		70歳以上(100名)		回答者全体(600名)	
大阪市防災アプリ	23	23.0%	32	32.0%	45	45.0%	40	40.0%	45	45.0%	44	44.0%	229	38.2%
防災行政無線(屋外スピーカー)	11	11.0%	17	17.0%	14	14.0%	23	23.0%	21	21.0%	19	19.0%	105	17.5%
大阪市・区HP	27	27.0%	36	36.0%	30	30.0%	28	28.0%	27	27.0%	29	29.0%	177	29.5%
X(旧Twitter)	24	24.0%	21	21.0%	11	11.0%	11	11.0%	4	4.0%	2	2.0%	73	12.2%
大阪市LINE公式アカウント	10	10.0%	5	5.0%	3	3.0%	10	10.0%	7	7.0%	6	6.0%	41	6.8%
広報車	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%	11	11.0%	17	17.0%	45	7.5%
テレビ・ラジオなどのマスメディア	15	15.0%	28	28.0%	22	22.0%	29	29.0%	27	27.0%	42	42.0%	163	27.2%
防災情報メール	26	26.0%	24	24.0%	24	24.0%	36	36.0%	39	39.0%	32	32.0%	181	30.2%
その他	4	4.0%	2	2.0%	7	7.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%	18	3.0%

■ 回答者全体 (600名) □ 18～29歳 (100名) ■ 30～39歳 (100名) □ 40～49歳 (100名)
 □ 50～59歳 (100名) ■ 60～69歳 (100名) ■ 70歳以上 (100名)

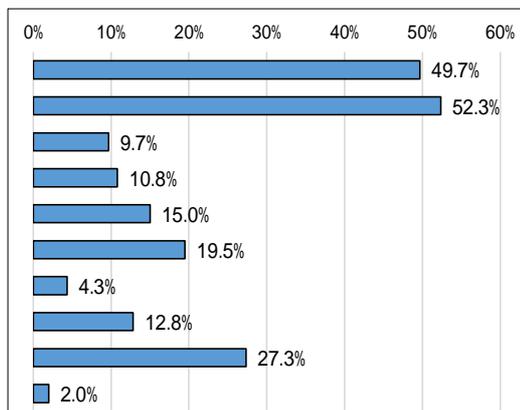


問 24 災害時において、より充実してほしい情報は何か。(3つまで回答可)

- ▶ 全体の傾向 ・「停電状況などライフラインに関する情報」と回答された方が 52.3%と最も高く、次いで「避難所開設に関する情報」と回答された方が 49.7%となっている。
- ▶ 年代別の傾向 ・「停電状況などライフラインに関する情報」と回答された方の割合は 50 歳以上で 6 割を超えているが、29 歳以下では 3 割程度となっている。

全体

	回答者数 (600名)	
避難所開設に関する情報	298	49.7%
停電状況などライフラインに関する情報	314	52.3%
学校や幼稚園、保育所などの休校・休園に関する情報	58	9.7%
市民利用施設などの休業・休館に関する情報	65	10.8%
人的被害に関する情報	90	15.0%
道路・公園などの被害に関する情報	117	19.5%
港湾施設の被害に関する情報	26	4.3%
災害ごみに関する情報	77	12.8%
住家被害に対する防水シートの配布など生活支援に関する情報	164	27.3%
その他(具体的に入力してください)	12	2.0%



年代別

■ 回答者全体 (600名) □ 18～29歳 (100名) □ 30～39歳 (100名) □ 40～49歳 (100名)
 □ 50～59歳 (100名) ■ 60～69歳 (100名) ■ 70歳以上 (100名)

